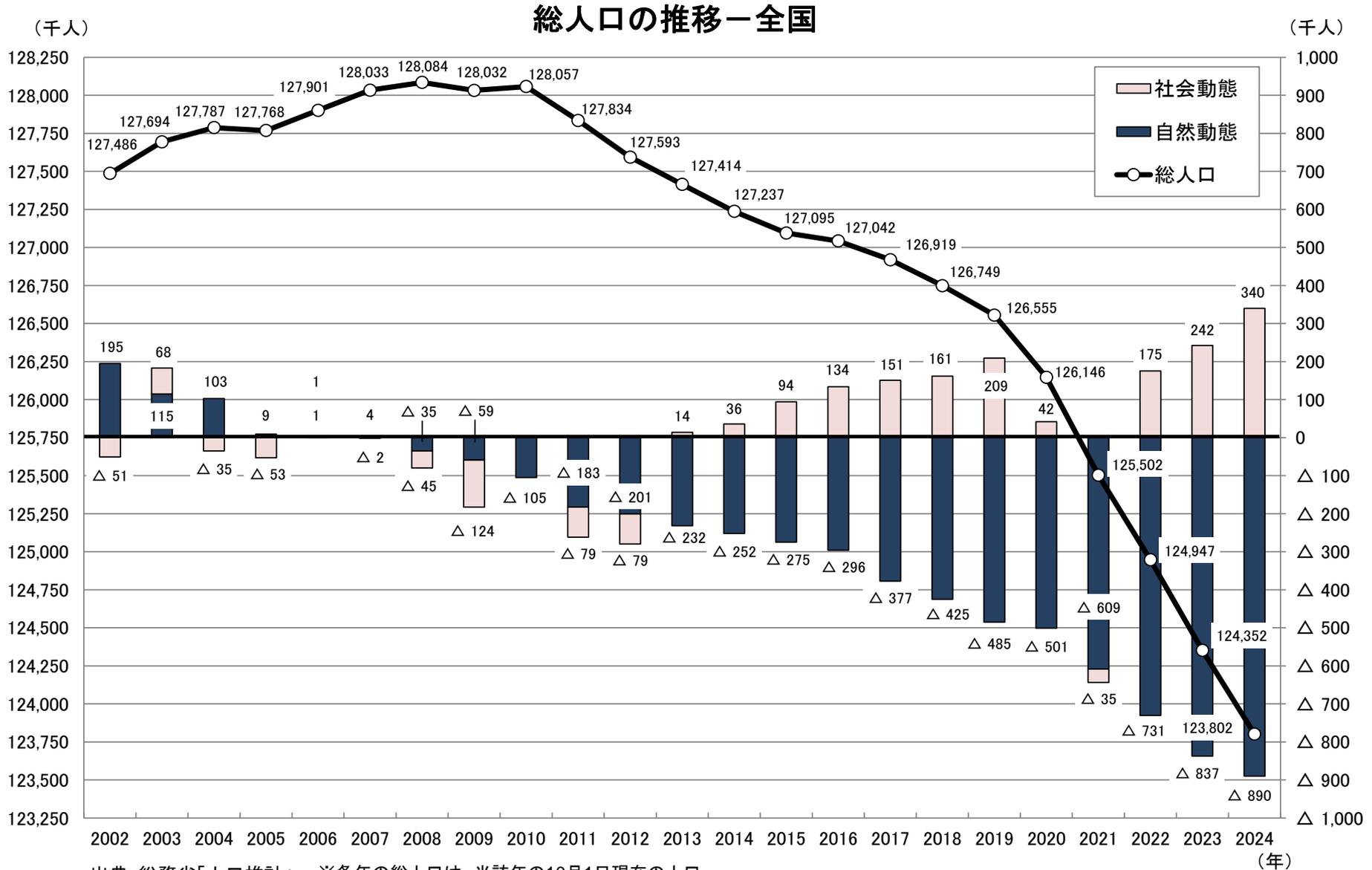




岐阜県の 人口減少の現状

2026年3月更新
岐阜県 統計課

日本は人口減少社会にある。生まれる子より 亡くなる人の方が多い時代に（自然動態は△89万人）

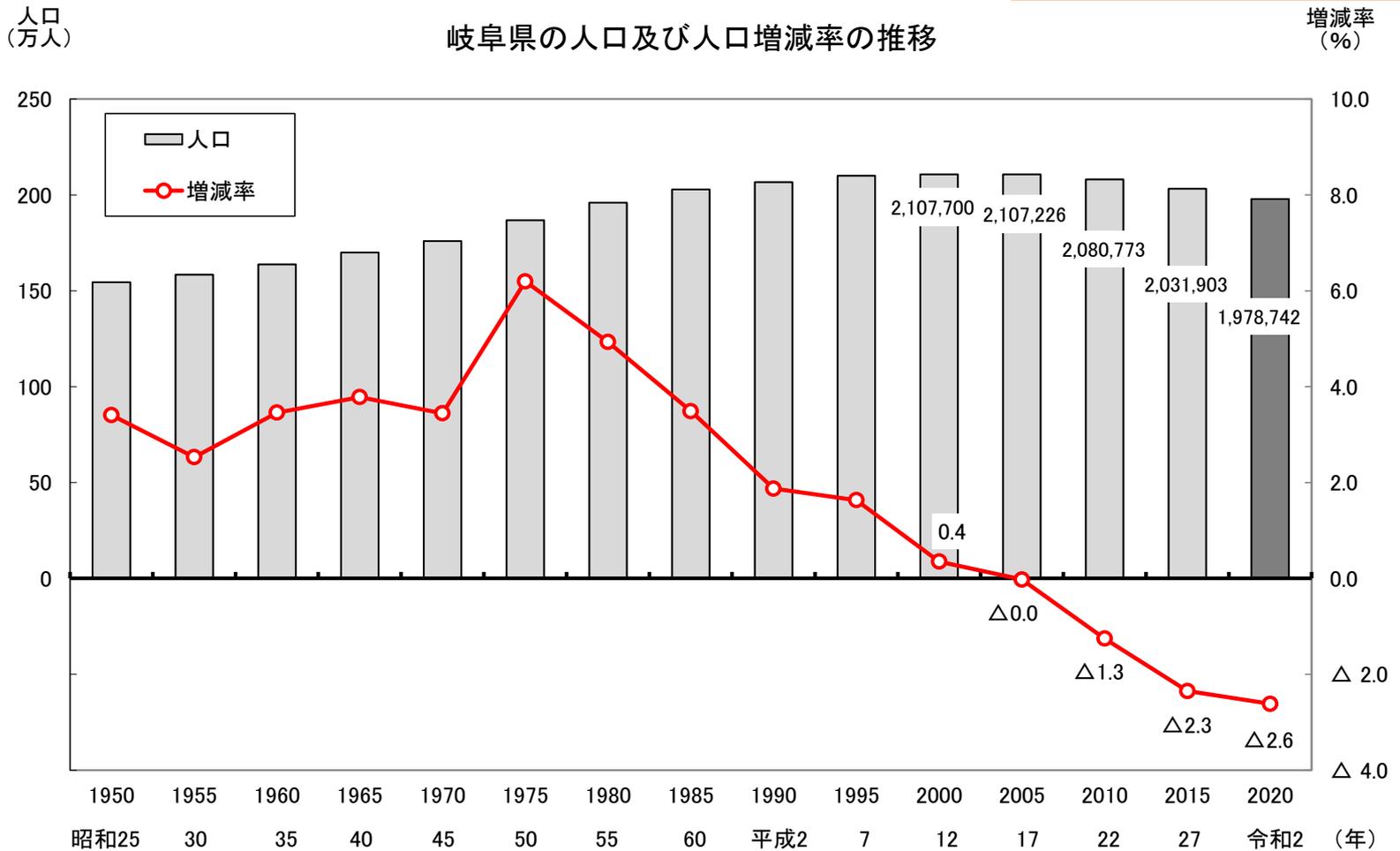


岐阜県人口の推移と見通し

2020年国勢調査による県人口は、197万8742人（全国17位） 前回調査(2015年)以降の5年間で約5万3千人減少

県人口 2015年10月1日現在：2,031,903人
 2020年10月1日現在：1,978,742人（△53,161人）

5年間の人口減少数は土岐市人口（55,348人）に匹敵

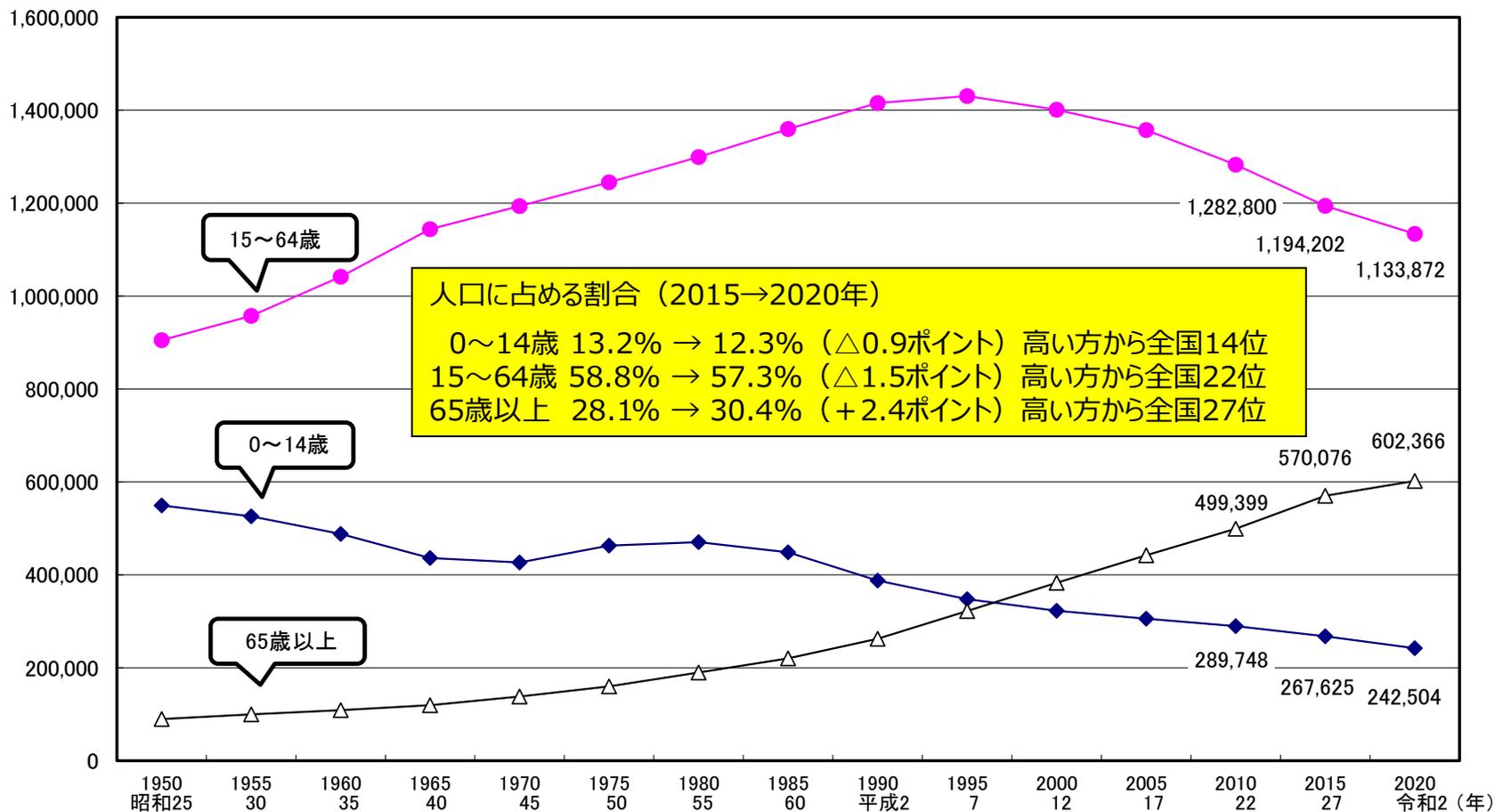


出典：総務省「国勢調査」

0～14歳の子どもが減り続ける一方で、65歳以上の高齢者は大幅に増加 社会を支える中心層である15～64歳の「現役世代」は約6万人の大幅減

| | | | | | |
|--------|-------------------|---|-------------------|------------|-----------------------|
| 0～14歳 | 2015年： 267,625人 | → | 2020年： 242,504人 | (△25,121人) | 減少数は山口市(25,280人)に相当 |
| 15～64歳 | 2015年： 1,194,202人 | → | 2020年： 1,133,872人 | (△60,330人) | 減少数は美濃加茂市(56,689人)に相当 |
| 65歳以上 | 2015年： 570,076人 | → | 2020年： 602,366人 | (+38,290人) | 増加数は郡上市(38,997人)に相当 |

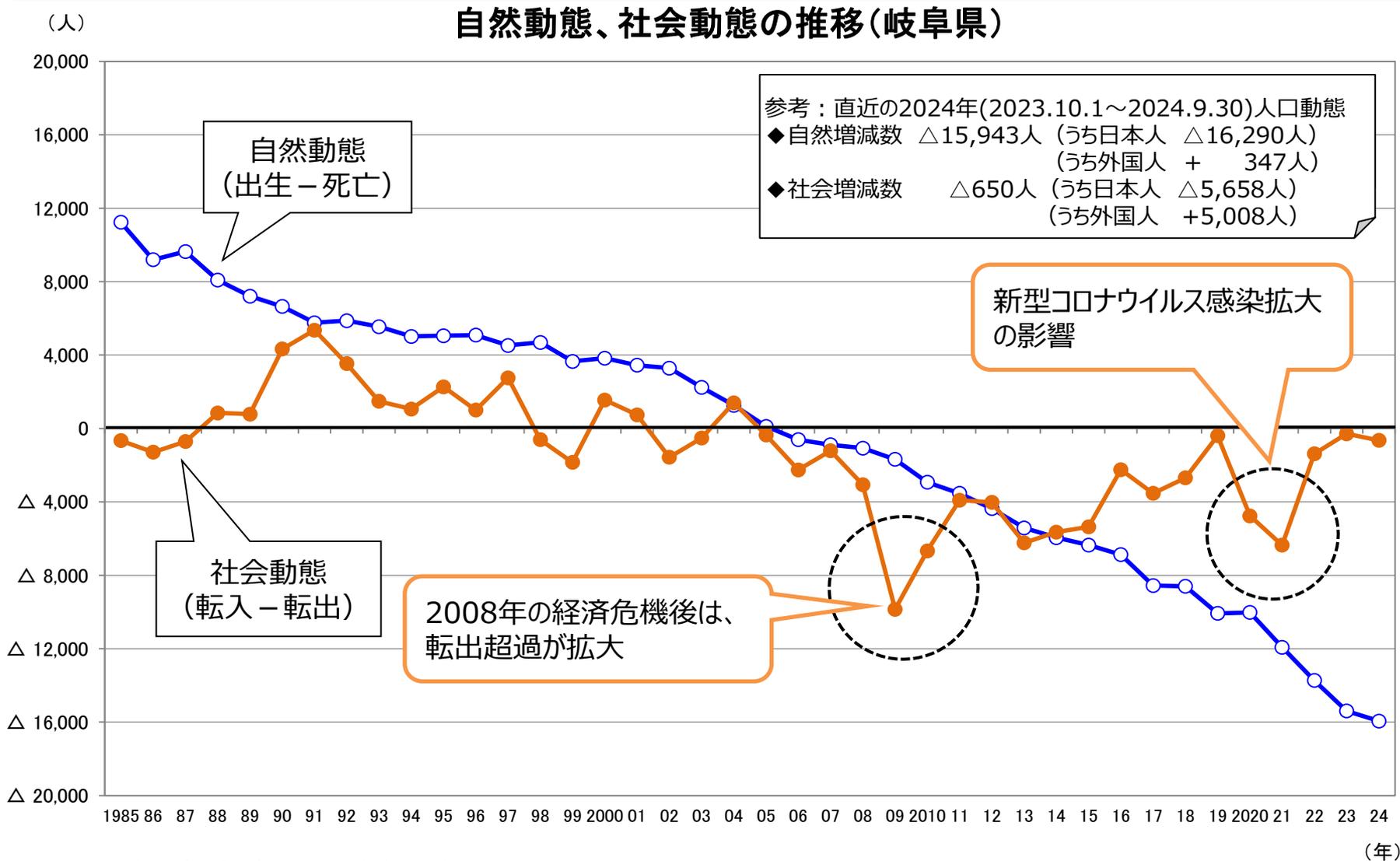
(人) 年齢(3区分別)人口の推移 一岐阜県(1950年～2020年)



出典：総務省「国勢調査」

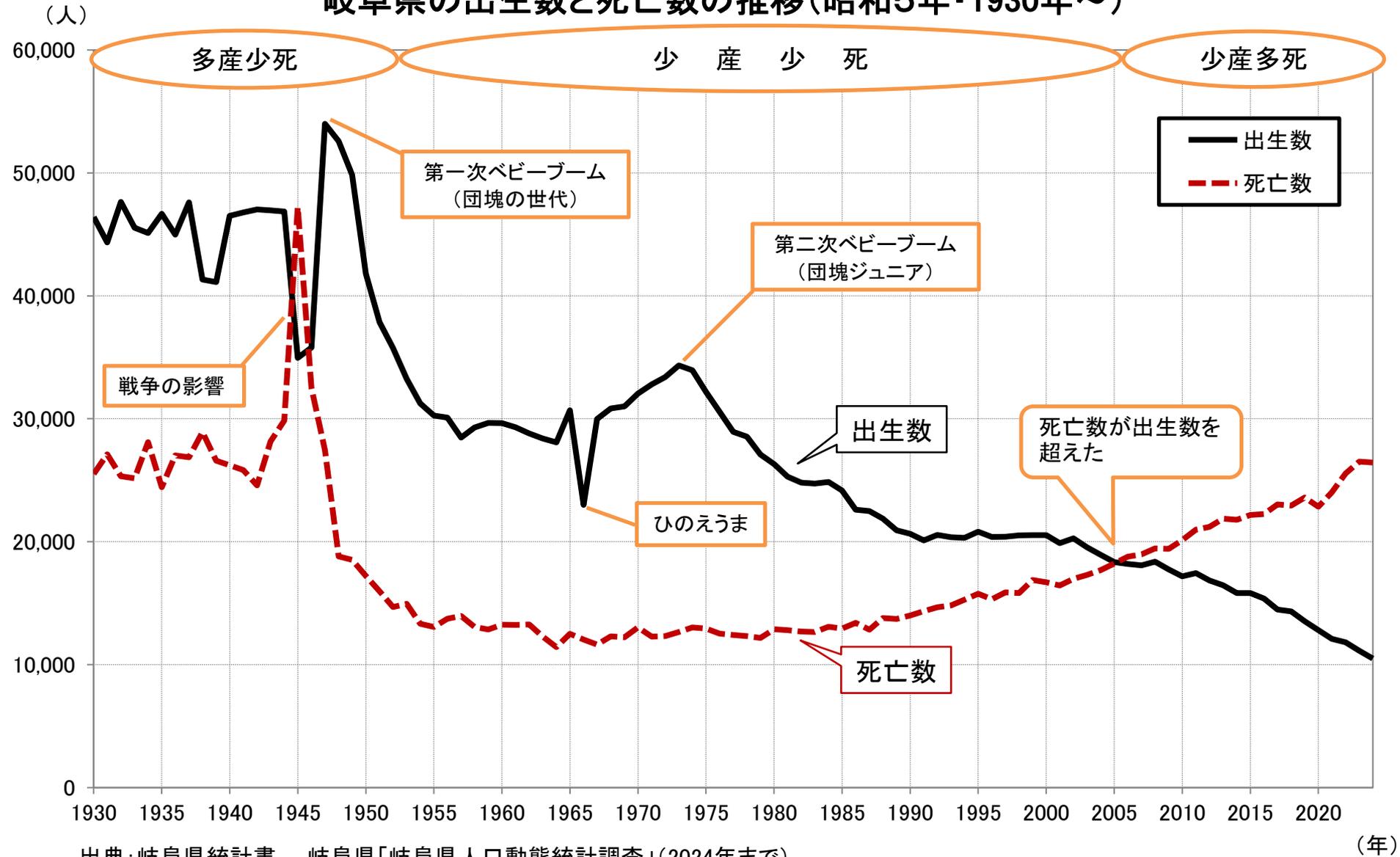
注：2010年(平成22年)までは年齢不詳を含まない。2015年(平成27年)以降は年齢不詳含む。

死亡数が出生数を上回る自然減少が年々拡大していることに加え、転出者が転入者を上回る社会減少(転出超過)が続くことが原因



出典：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」(前年10月1日～当年9月30日)

岐阜県の出生数と死亡数の推移(昭和5年・1930年～)



出典: 岐阜県統計書、岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」(2024年まで)

出生率は人口維持に必要な2.07を大きく下回る1.27に

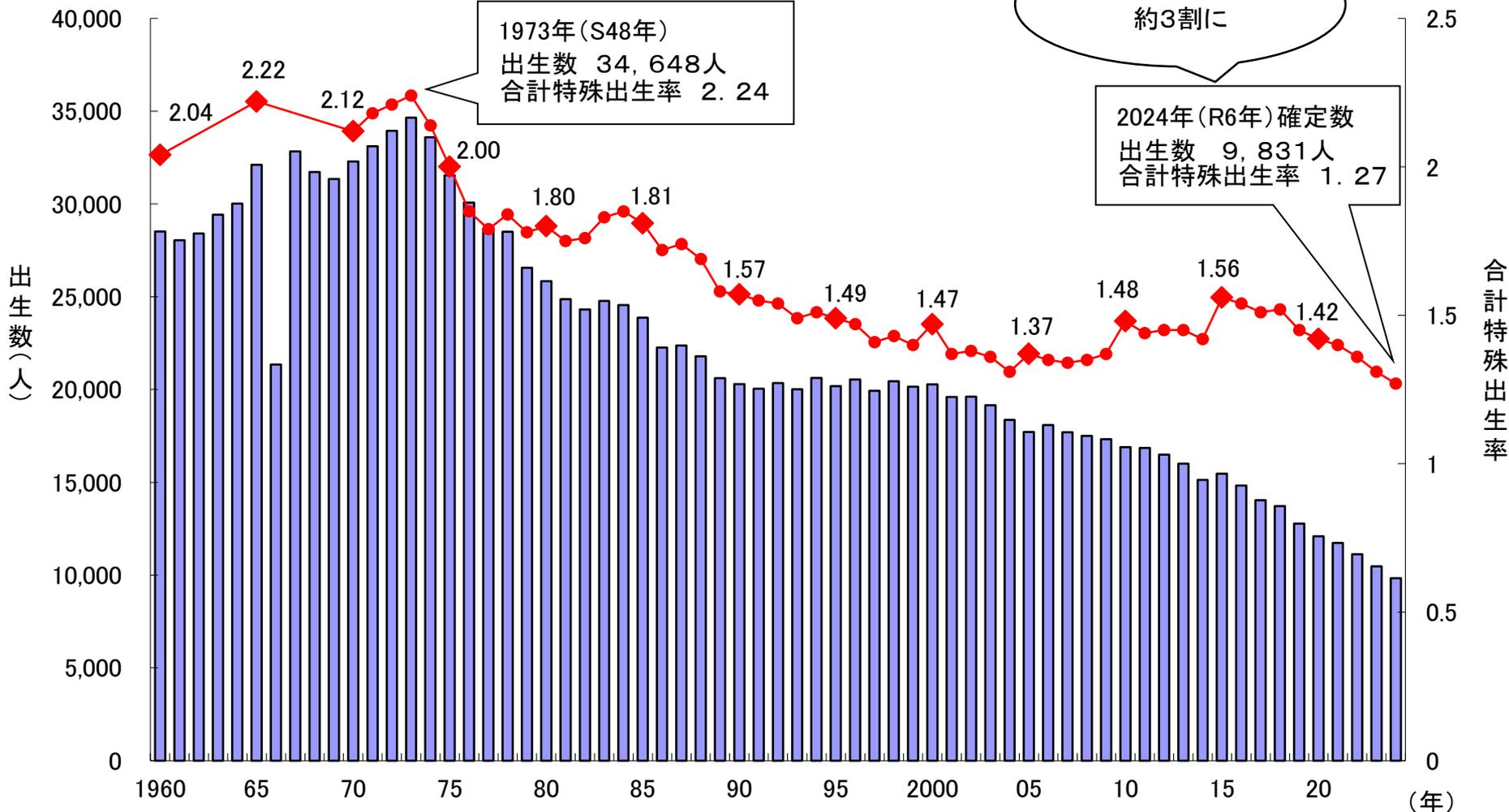
出生数及び合計特殊出生率の推移

出生のピーク(1960年以降)

1973年(S48年)
出生数 34,648人
合計特殊出生率 2.24

出生数はピーク時の
約3割に

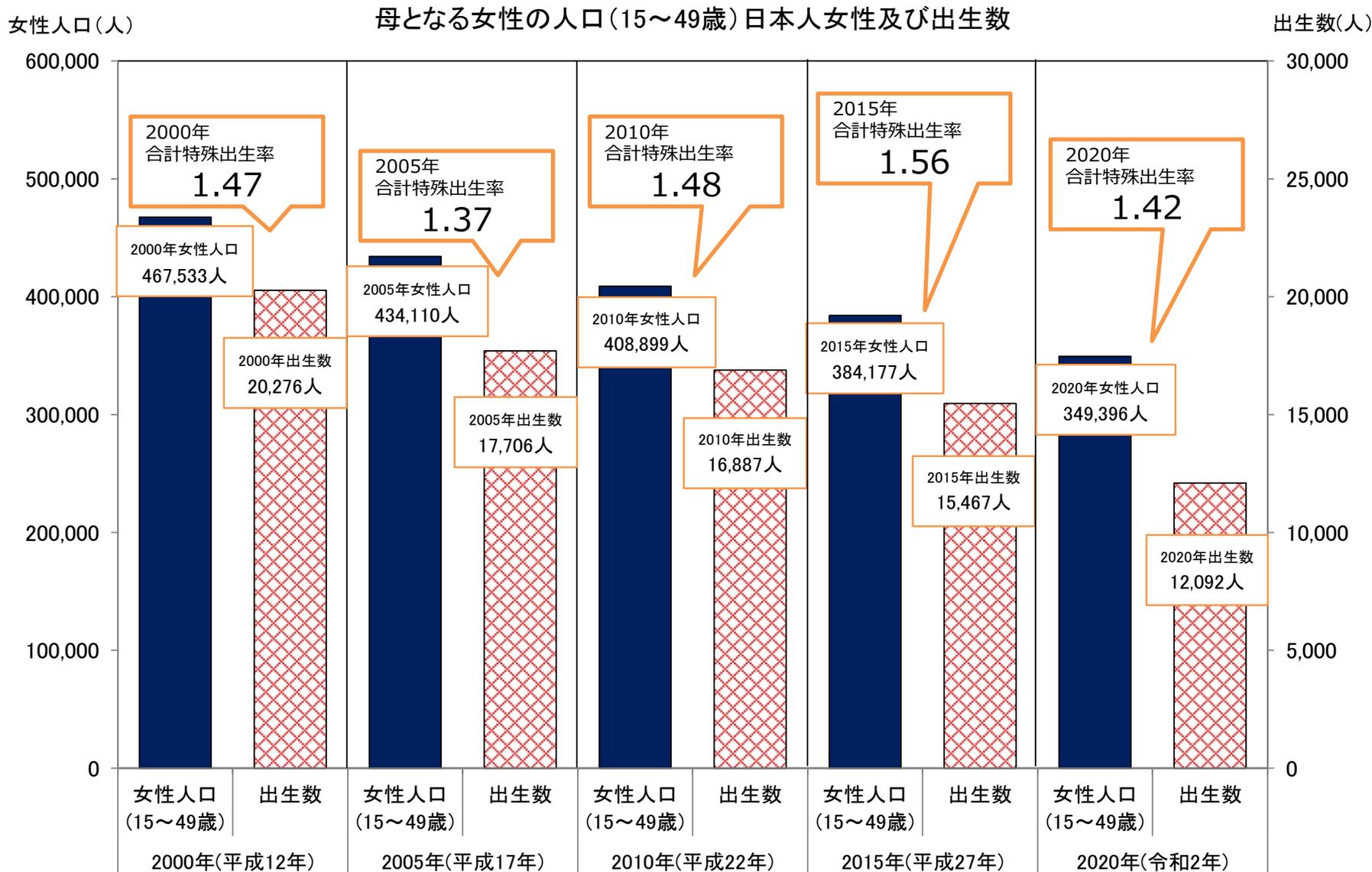
2024年(R6年)確定数
出生数 9,831人
合計特殊出生率 1.27



出典: 厚生労働省「人口動態統計」

※2010、2015、2020年などの国勢調査年及び2016年以降の出生率は、日本人女性人口を分母として算出されていることに注意。
人口置換水準2.07は、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」2025年版より引用。

女性人口が減少しているため、出生数は減少する。
合計特殊出生率が上昇していた期間でも出生数は増加していない。

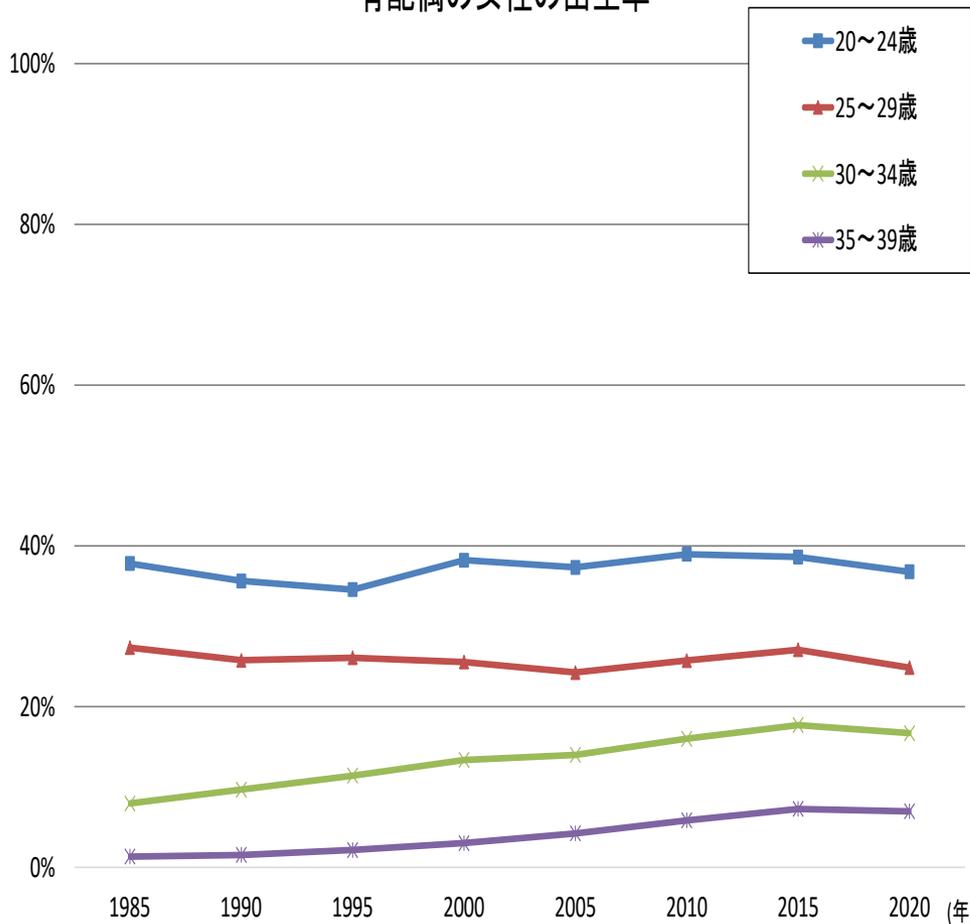


出典:総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態統計」 ※岐阜県政策研究会人口動向研究部会「岐阜県の将来人口推計」より引用。

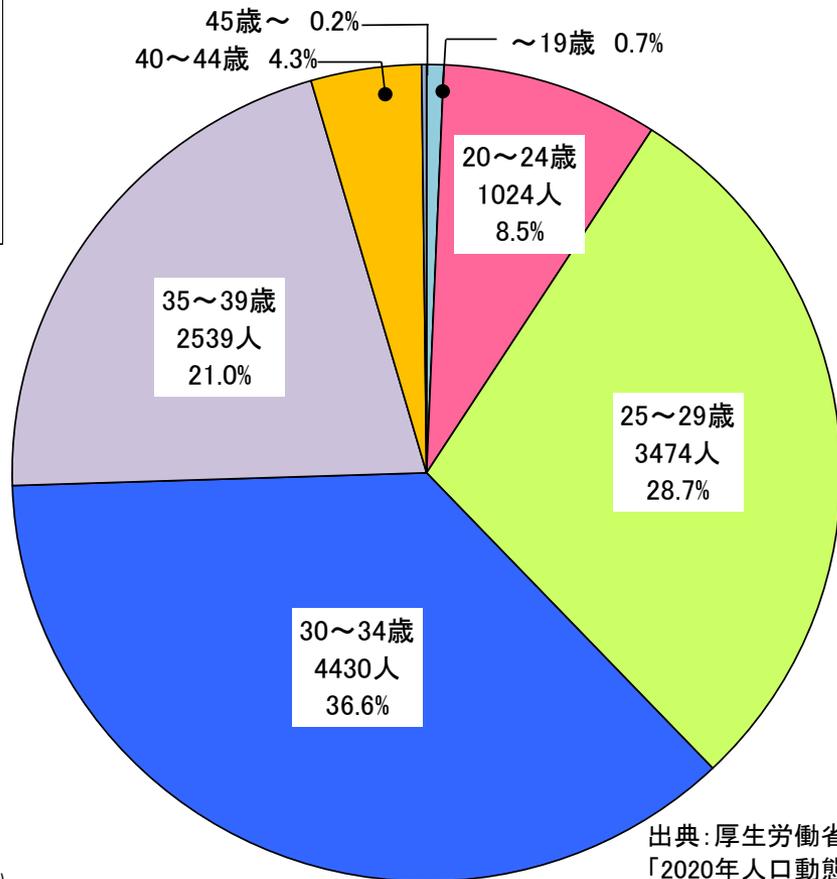
日本は、98%が嫡出子（夫婦から生まれた子ども）。出生には結婚が大きく影響。

出産の中心は20～30代。団塊ジュニアが40代に入り、20～30代女性はさらに減少。同じ出生率でも、出生数は減少してしまう。

有配偶の女性の出生率



母親の年齢別出産数(2020年)



出典：厚生労働省「2020年人口動態統計」

総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態統計」

※有配偶の女性の出生率は、日本人女性15歳～49歳について各年齢ごとに次の式を用いて算出。

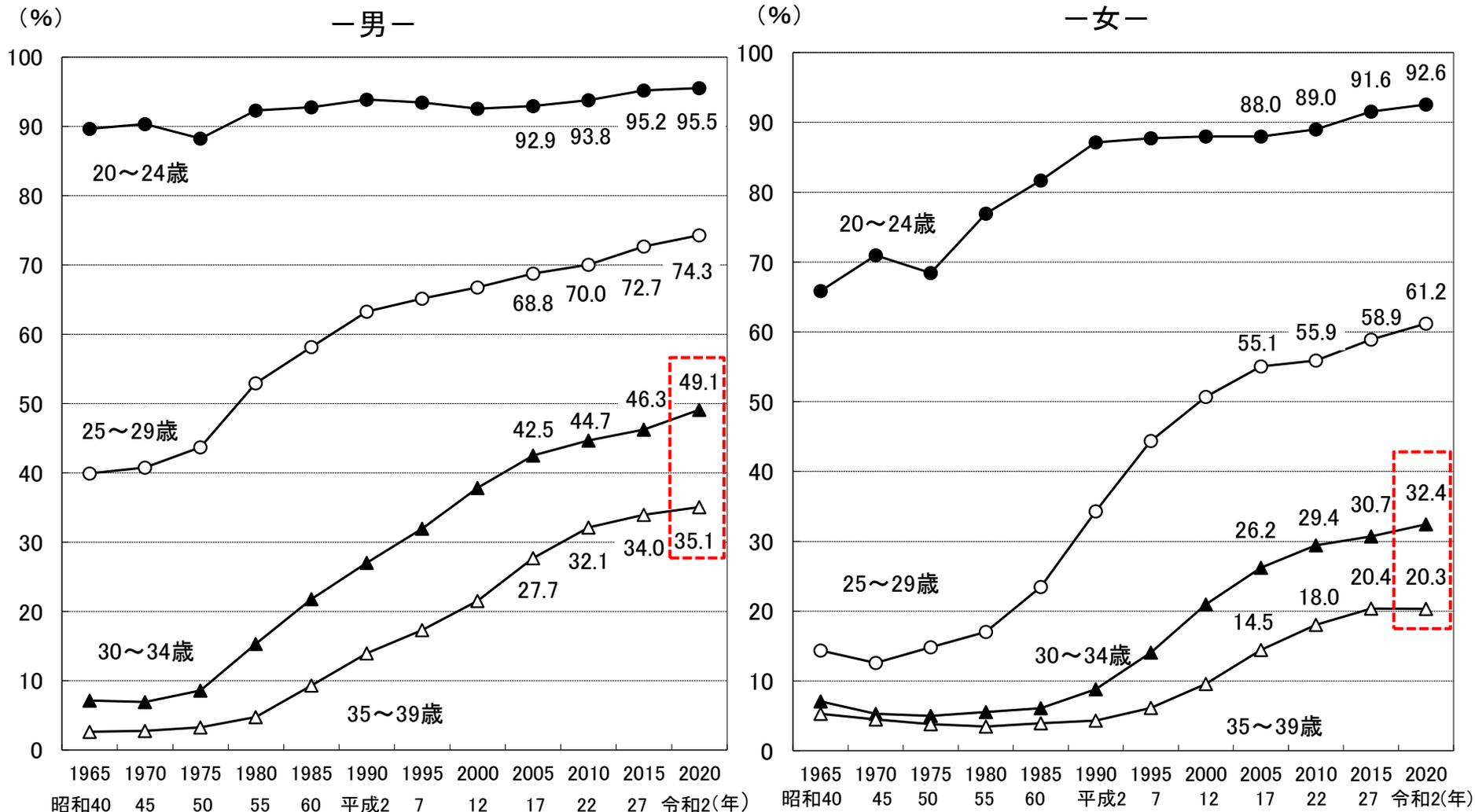
有配偶女性の出生率 = 出生数 ÷ 有配偶女性人口

※有配偶の女性人口は不詳除く。ただし、2015年及び2020年は不詳補完による。

20～30代の母親の出産が約95%

若い世代の未婚率はさらに上昇 30代前半では男性の5割近く、女性の3割が未婚

年齢別未婚率の推移(岐阜県)

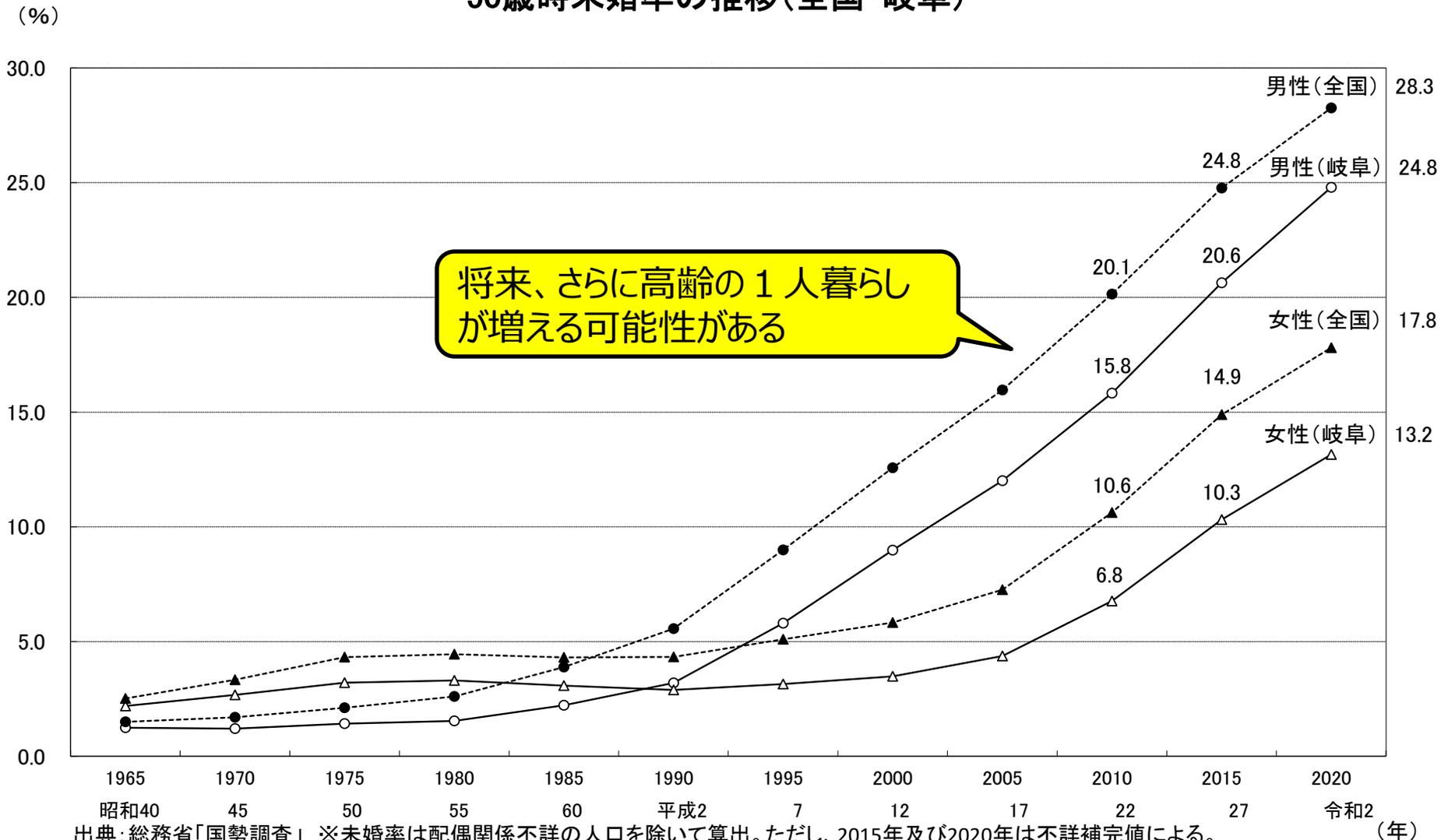


出典: 総務省「国勢調査」

注: 未婚率は配偶関係不詳の人口を除いて算出。ただし、2015年及び2020年は不詳補完値による。

50歳時点の未婚率も、 県は男性の24.8%、女性は13.2%とさらに上昇

50歳時未婚率の推移(全国・岐阜)

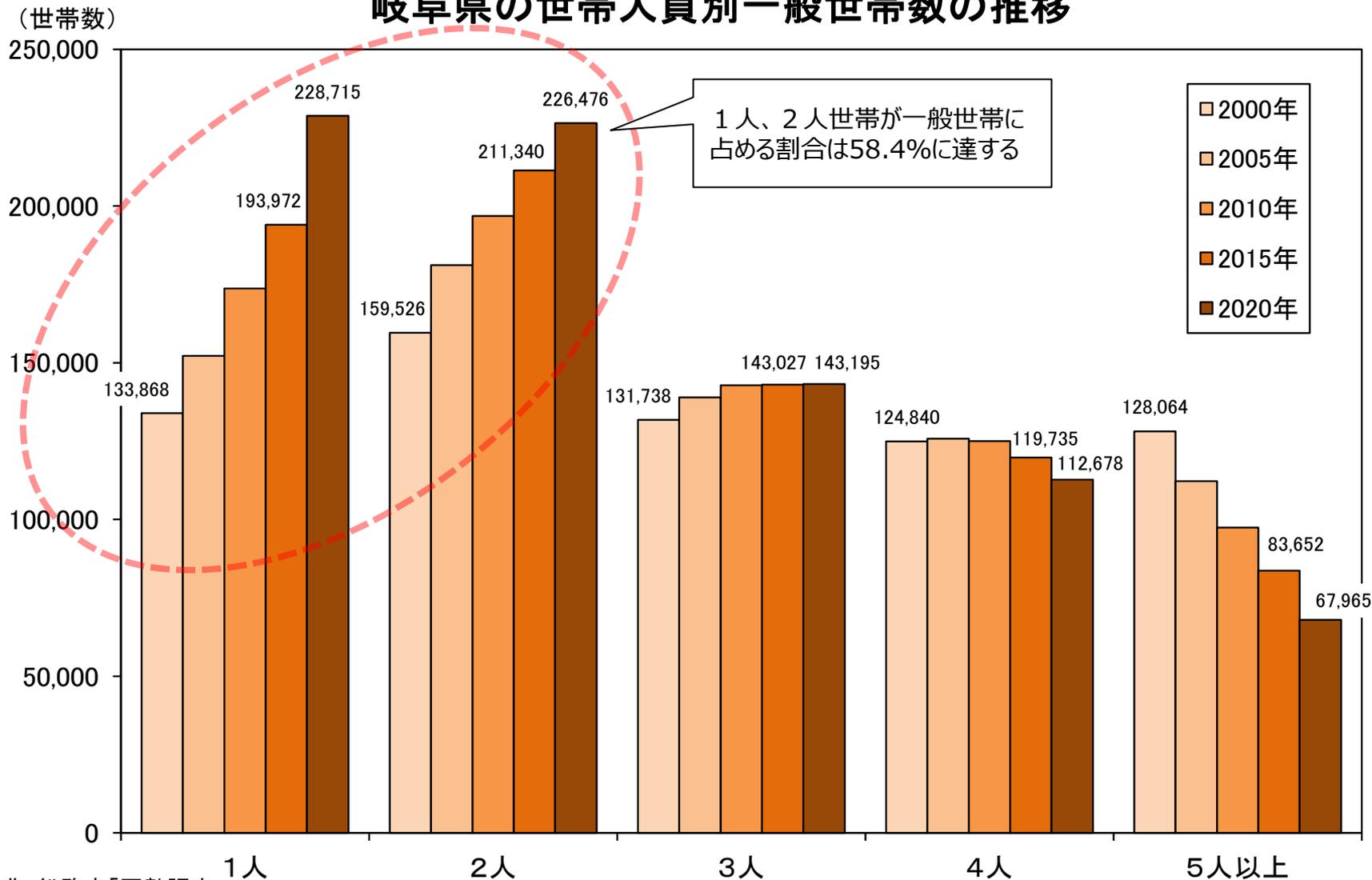


出典：総務省「国勢調査」 ※未婚率は配偶関係不詳の人口を除いて算出。ただし、2015年及び2020年は不詳補完値による。

備考：50歳時未婚率とは、45～49歳と50～54歳未婚率の平均値。

4人以上の世帯が減少し、1人・2人世帯が大幅に増加
～1人・2人世帯は全世帯数の約6割を占める。20年間で約1.6倍に増加～

岐阜県の世帯人員別一般世帯数の推移

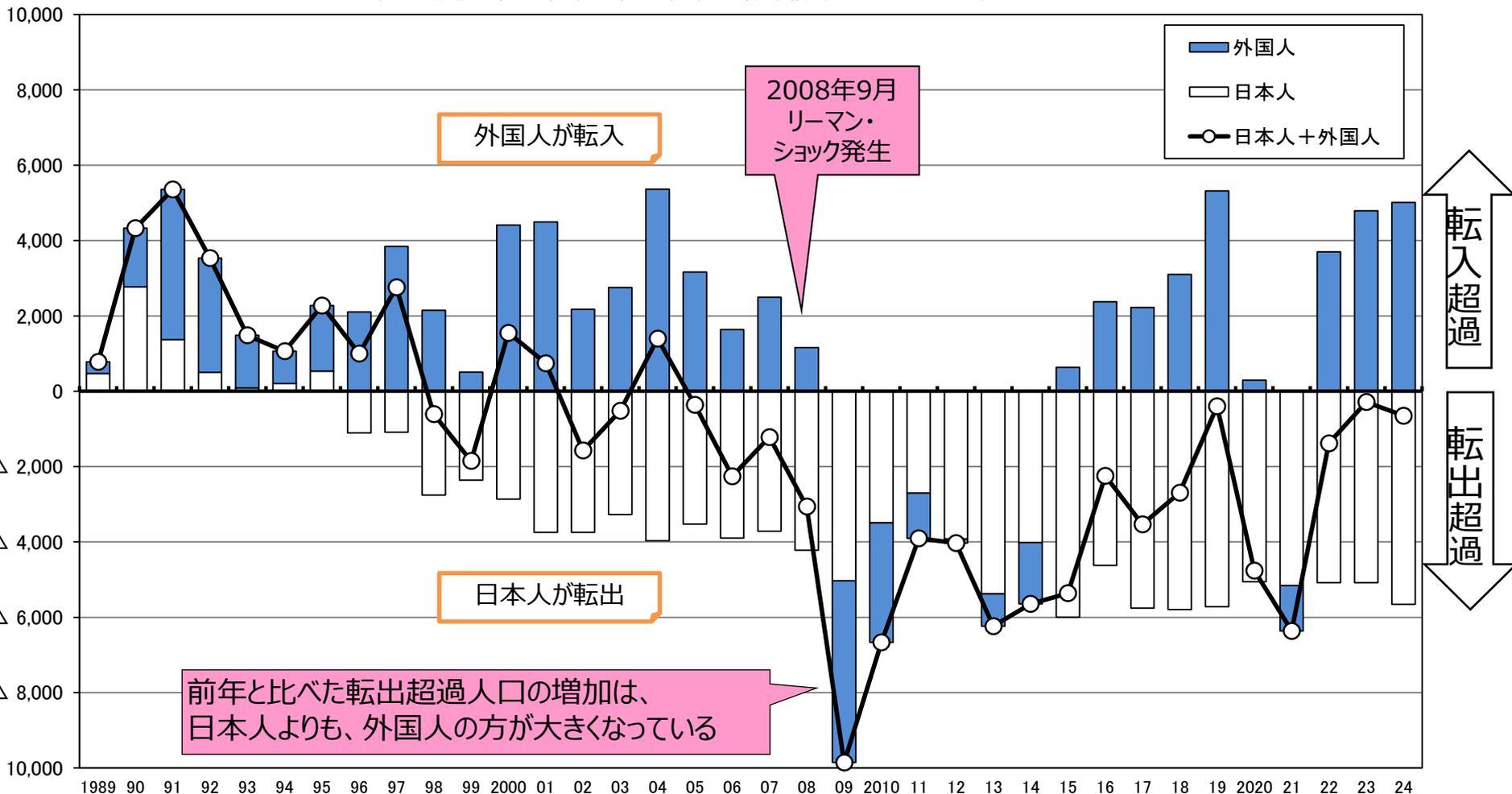


外国人は2015年以降転入超過傾向

日本人・外国人別の社会動態の推移(岐阜県)

社会動態=転入者数-転出者数 (各年前年10月1日~同年9月30日)

(人)

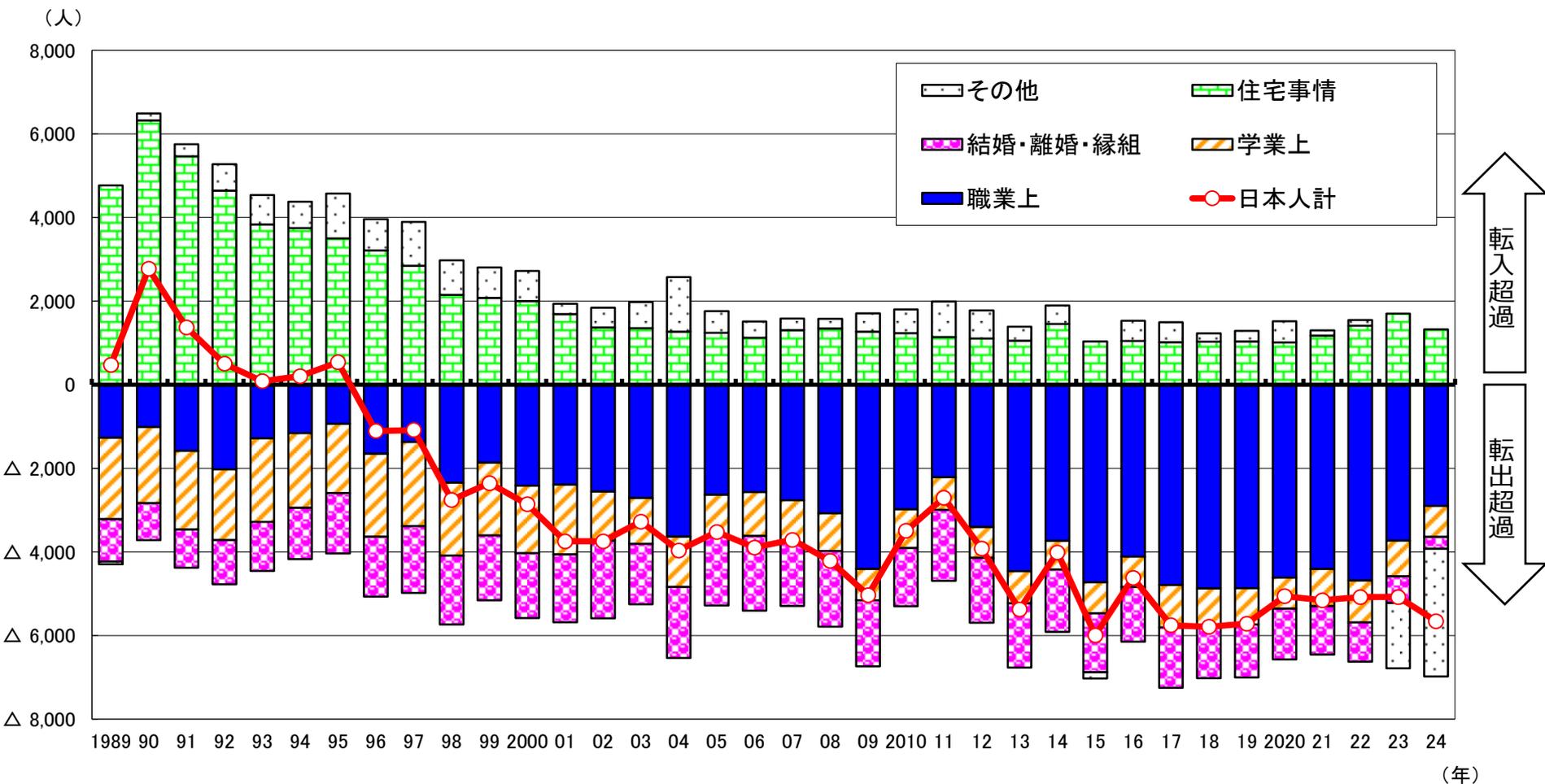


出典:岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」

(年)

住宅事情による転入が減り、1996年以降職業上、結婚等、 学業上による転出超過が続く構造に変化はない。

日本人の移動理由別社会動態(岐阜県)



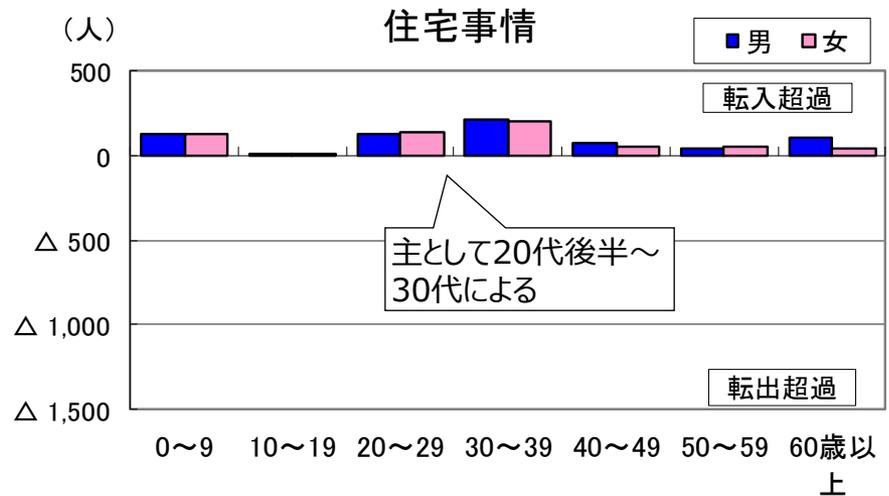
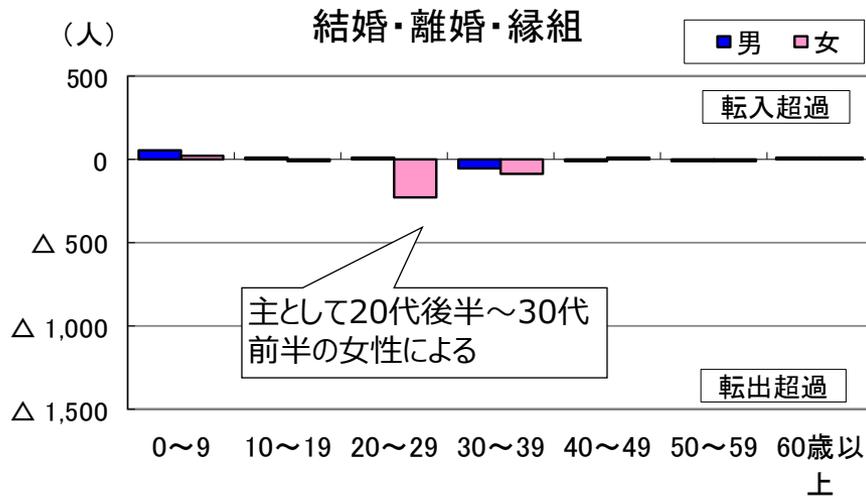
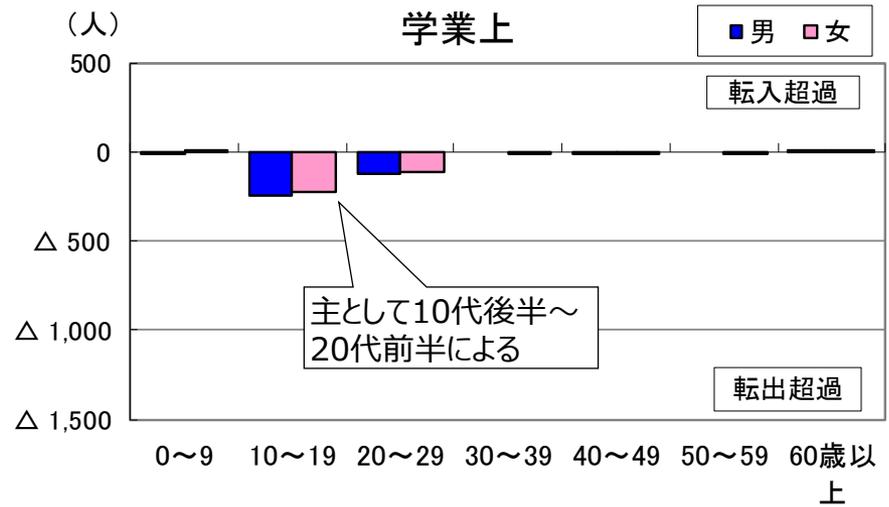
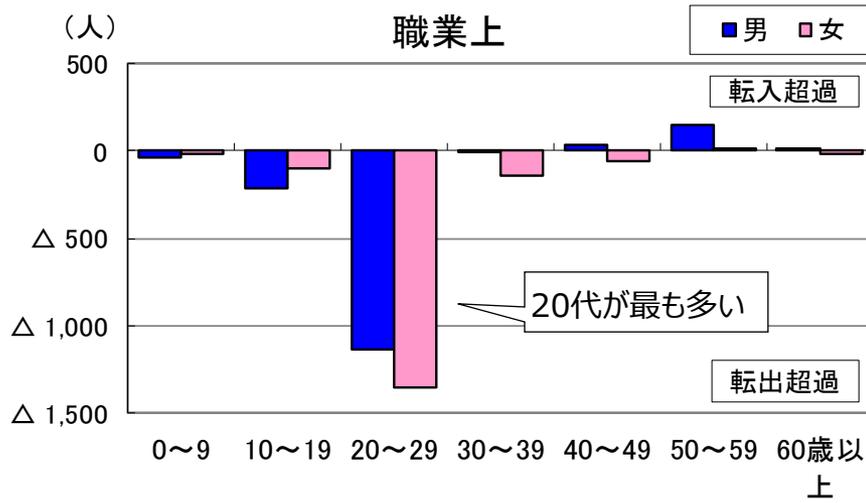
出典: 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」「岐阜県転入転出理由実態調査」

※社会動態 = 転入者数 - 転出者数

(年)

転出超過の中心は20代の若い世代 職を求めて県外へ出ていくとみられる

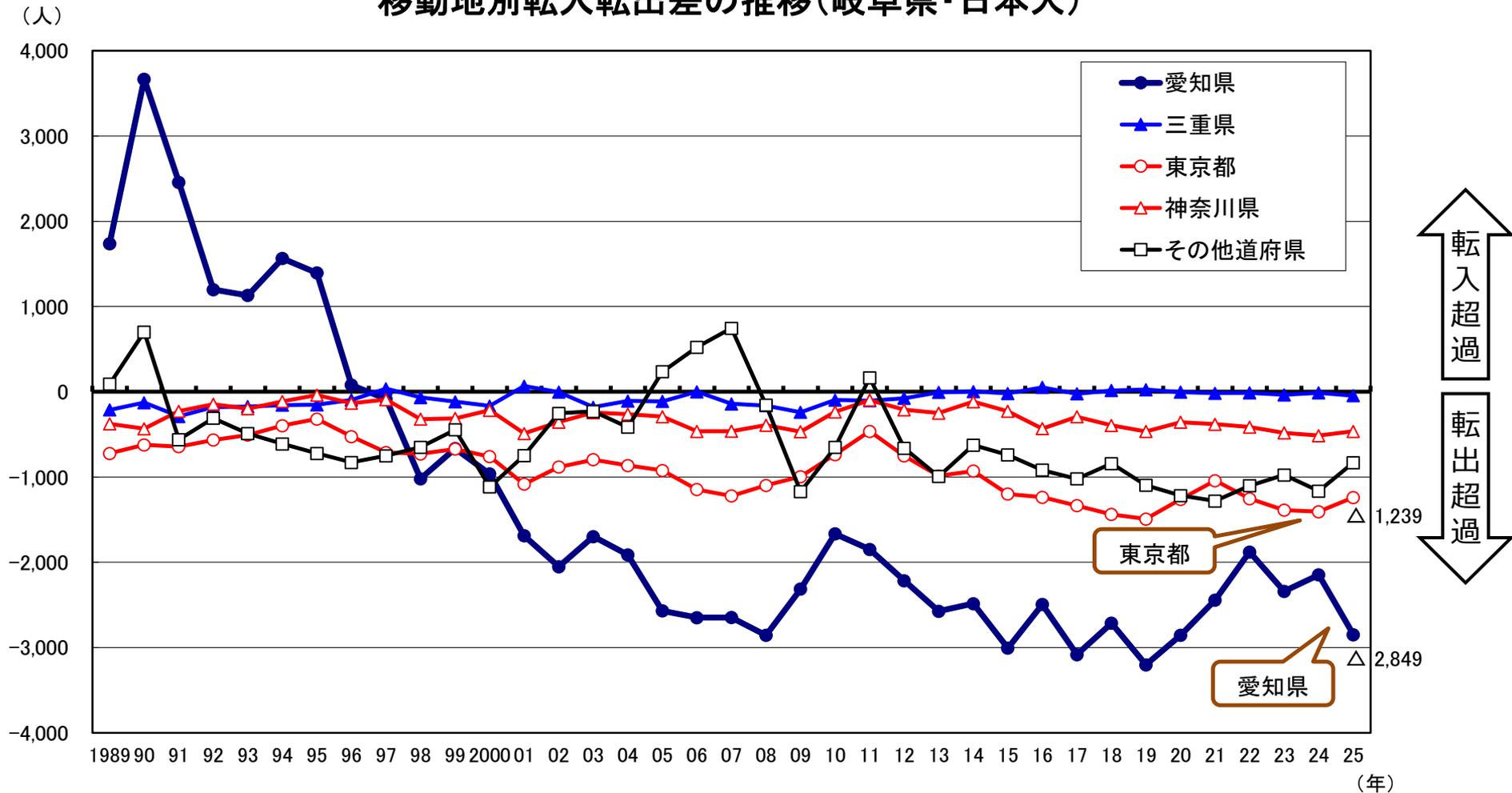
主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(岐阜県 2024年)



出典:岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」「岐阜県転入転出理由実態調査」令和6年(2024年) ※社会動態=転入者数-転出者数

愛知県への大幅な転出超過が続いている

移動地別転入転出差の推移(岐阜県・日本人)



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告年報」(日本人)

県内の高校生は約 8 割が県外へ進学

○岐阜県内大学入学者の出身高校

| | 出身高校 | 人数 | 割合 |
|----|------|--------|-------|
| 1 | 岐阜県 | 2,190人 | 46.7% |
| 2 | 愛知県 | 1,210人 | 25.8% |
| 3 | 静岡県 | 129人 | 2.8% |
| 4 | 三重県 | 122人 | 2.6% |
| 5 | 長野県 | 93人 | 2.0% |
| 6 | 滋賀県 | 87人 | 1.9% |
| 7 | 富山県 | 81人 | 1.7% |
| 8 | 大阪府 | 76人 | 1.6% |
| 9 | 沖縄県 | 74人 | 1.6% |
| 10 | 福井県 | 55人 | 1.2% |
| 11 | 石川県 | 35人 | 0.7% |
| 12 | 京都府 | 31人 | 0.7% |
| 12 | 兵庫県 | 31人 | 0.7% |
| 14 | 北海道 | 29人 | 0.6% |
| 15 | 山梨県 | 28人 | 0.6% |

| | | |
|----------|--------|-------|
| 県内からの入学者 | 2,190人 | 46.7% |
| 県外からの入学者 | 2,497人 | 53.3% |

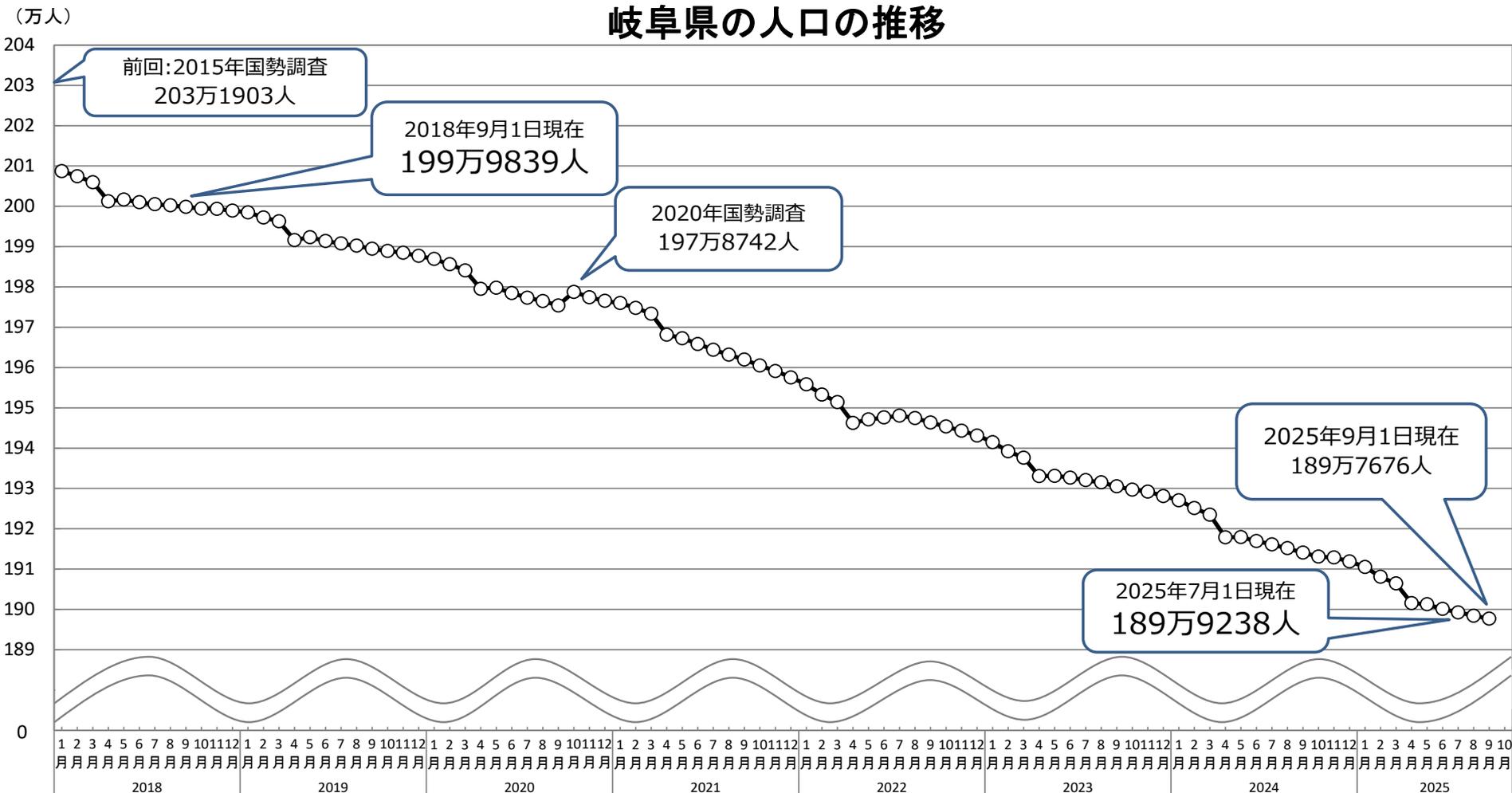
○岐阜県内高校卒業生の進学先

| | 進学先 | 人数 | 割合 |
|----|------|--------|-------|
| 1 | 愛知県 | 4,548人 | 46.4% |
| 2 | 岐阜県 | 2,190人 | 22.3% |
| 3 | 東京都 | 505人 | 5.2% |
| 4 | 京都府 | 351人 | 3.6% |
| 5 | 滋賀県 | 247人 | 2.5% |
| 5 | 大阪府 | 247人 | 2.5% |
| 7 | 富山県 | 158人 | 1.6% |
| 8 | 石川県 | 156人 | 1.6% |
| 9 | 神奈川県 | 155人 | 1.6% |
| 10 | 静岡県 | 135人 | 1.4% |
| 11 | 兵庫県 | 122人 | 1.2% |
| 12 | 長野県 | 110人 | 1.1% |
| 13 | 福井県 | 88人 | 0.9% |
| 14 | 三重県 | 84人 | 0.9% |
| 15 | 千葉県 | 77人 | 0.8% |

| | | |
|---------|--------|-------|
| 県内への入学者 | 2,190人 | 22.3% |
| 県外への入学者 | 7,611人 | 77.7% |

出典：文部科学省「2025年度 学校基本調査」

県の人口は2025年9月1日現在で189万7676人

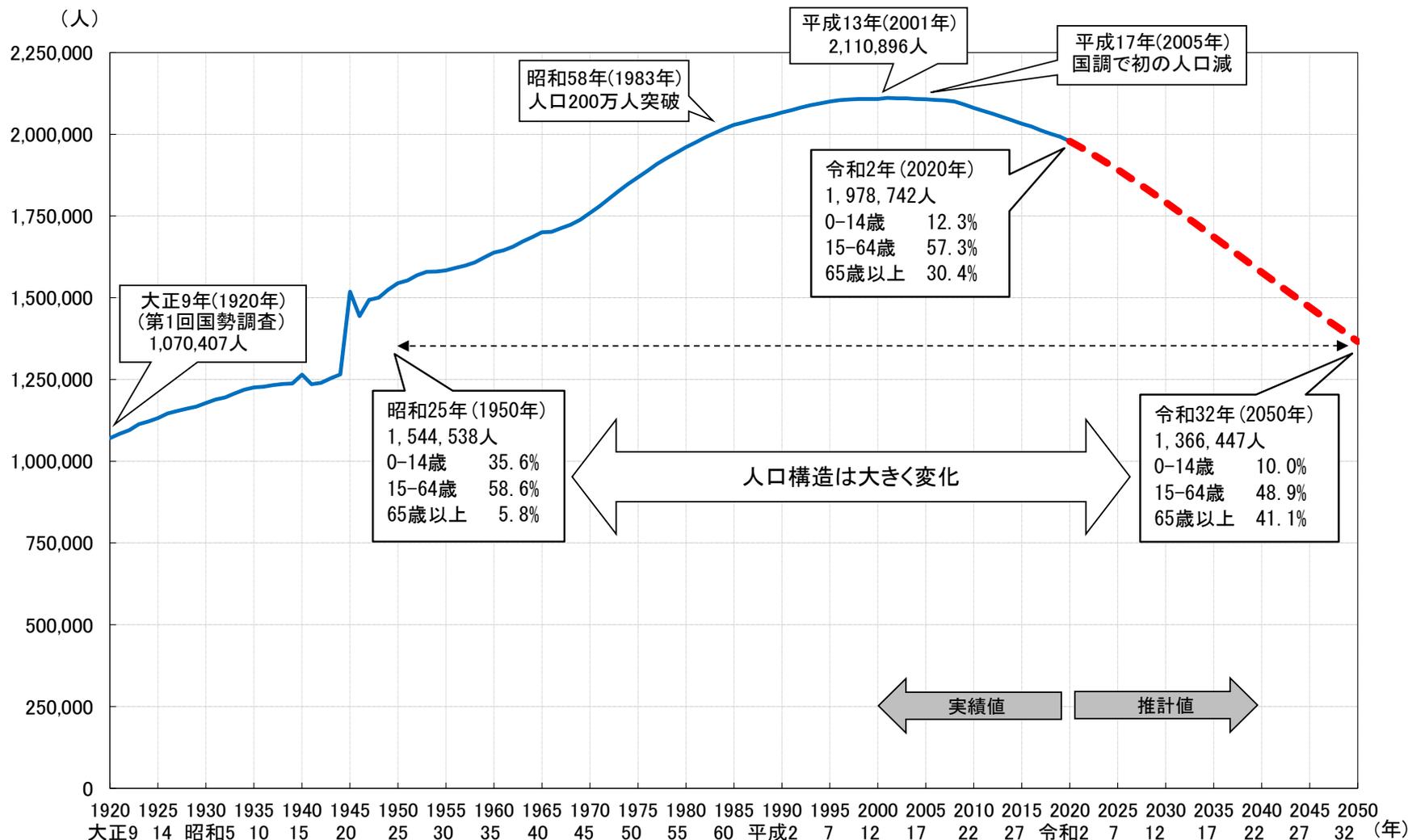


出典:総務省「国勢調査」、岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」(各月1日現在)

(年)

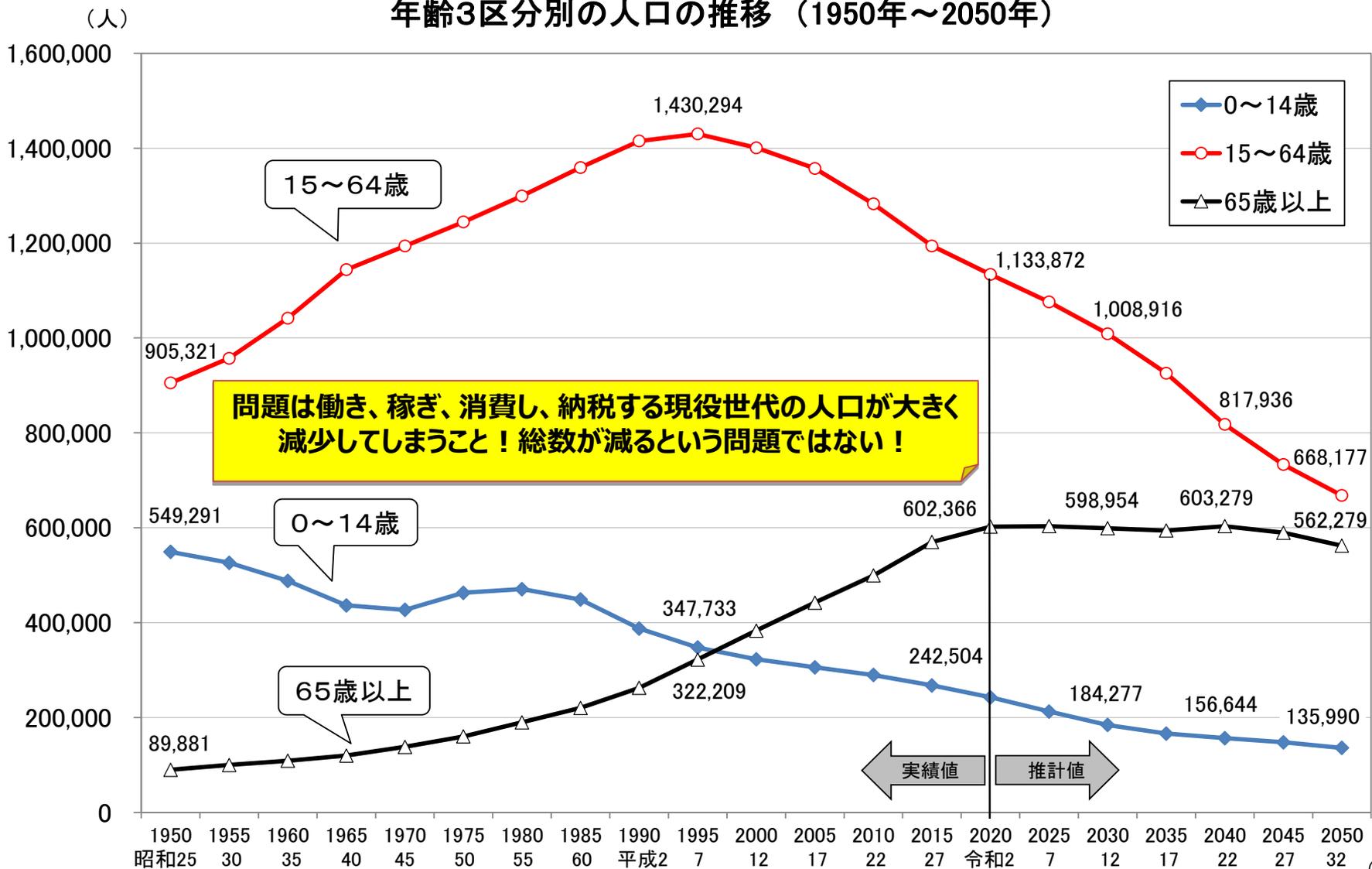
本県の人口は2005年頃から減少を続けている 30年後の2050年には137万人に(61万人の大幅減)

岐阜県の人口の推移と将来の見通し



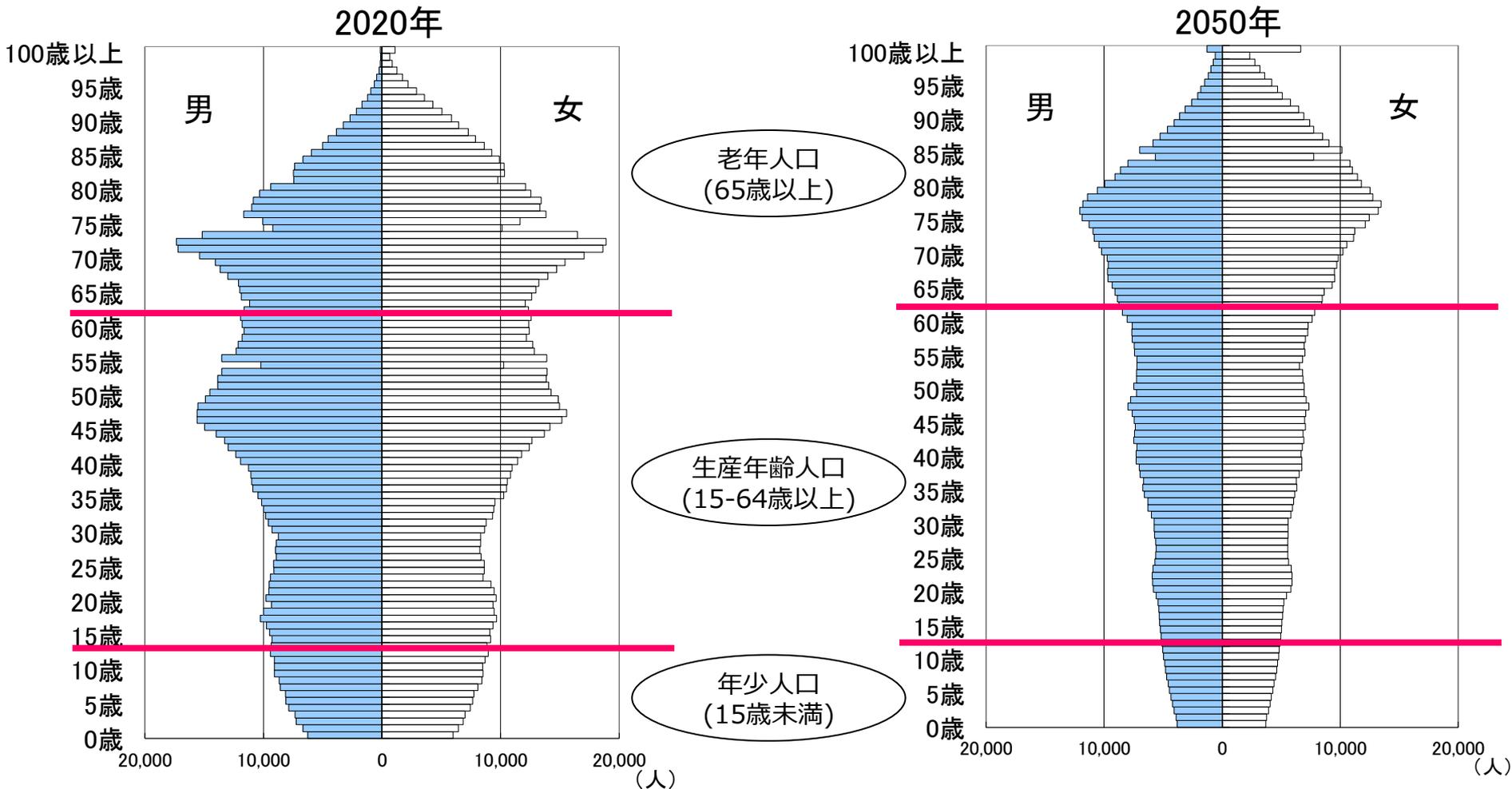
地域を支える現役世代(15～64歳)は47万人の減少。0～14歳の子どもは11万人減り、65歳以上の高齢者は4万人の減少

年齢3区分別の人口の推移 (1950年～2050年)



出典：国勢調査、岐阜県政策研究会人口動向研究部会（2022年3月） 注：2020年(令和2年)の年齢3区分人口は、年齢不詳をあん分した不詳補完値による。

2050年の人口ピラミッドをみると、 65歳以上の人口に大きな厚みがある構造に変化

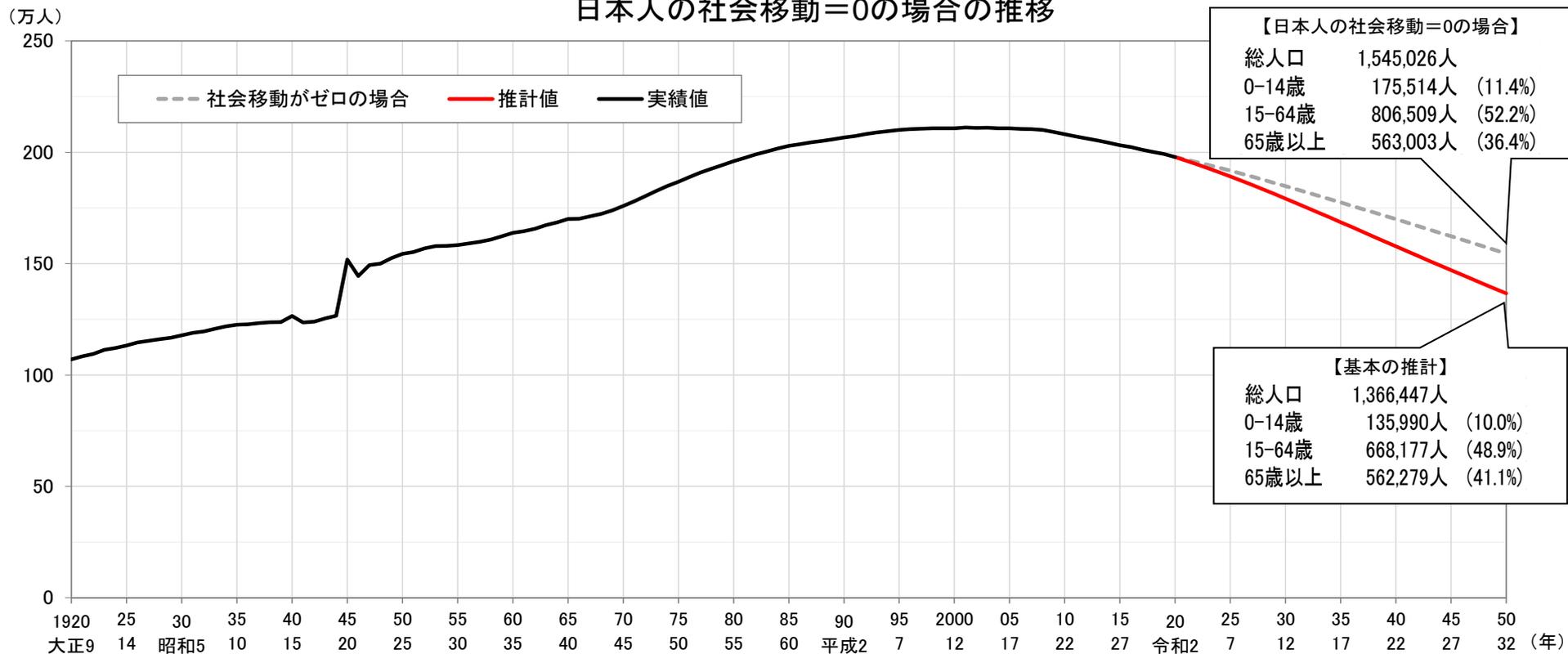


出典：総務省「令和2年(2020年) 国勢調査」

出典：岐阜県政策研究会人口動向研究部会(2022年3月)

日本人の転出超過がない（社会移動=0）と仮定しても、自然動態（出生-死亡）だけで43万人減少

日本人の社会移動=0の場合の推移



【日本人の社会移動=0の場合】

| | |
|--------|------------------|
| 総人口 | 1,545,026人 |
| 0-14歳 | 175,514人 (11.4%) |
| 15-64歳 | 806,509人 (52.2%) |
| 65歳以上 | 563,003人 (36.4%) |

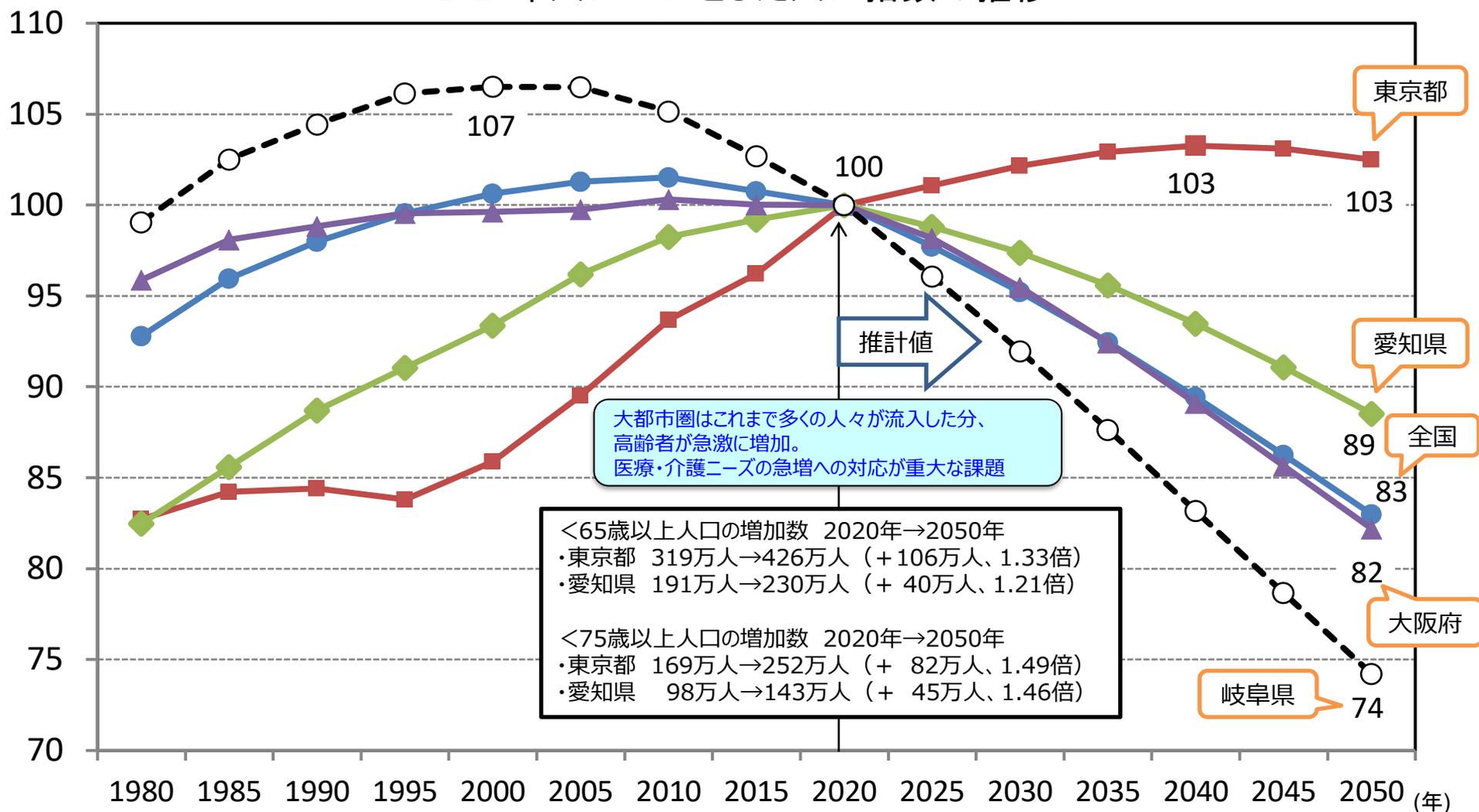
【基本の推計】

| | |
|--------|------------------|
| 総人口 | 1,366,447人 |
| 0-14歳 | 135,990人 (10.0%) |
| 15-64歳 | 668,177人 (48.9%) |
| 65歳以上 | 562,279人 (41.1%) |

出典：総務省「国勢調査(1945年は「人口調査）」、総務省「人口推計(国勢調査による補間補正人口)」

時間差こそあれ、全国で人口は減少していく

2020年人口=100とした人口指数の推移



長期にわたり人口が減少していく傾向が改めて確認され、 前回の推計よりも人口減少のペースは速くなった

30年後の岐阜県人口は137万人と、2020年と比べ61万人の大幅減

- ・ 2050年の岐阜県の人口は1950年（昭和25年）頃の人口に相当。しかし、65歳以上人口の割合が5.8%から41.1%になるなど、人口構造は全く異なる。
- ・ 地域を支える現役世代（15-64歳）は47万人減少するとみられる。
- ・ 65歳以上人口は今後横ばいで推移するが、85歳以上人口は2035年頃まで増加を続けるとみられる。団塊ジュニア世代が65歳を超える2040年頃から、再び高齢者が増加。

前回（2015年国勢調査基準）に行った将来推計と比較しても、人口が減少する トレンドには変化がない

- ・ 今回の推計と前回の推計を比較すると、平均寿命が上昇したものの、合計特殊出生率の低下及び転出超過率の上昇により、人口減少のペースは速くなった。

日本人の転出超過がない（社会移動=0）としても、出生-死亡だけで43万人減少

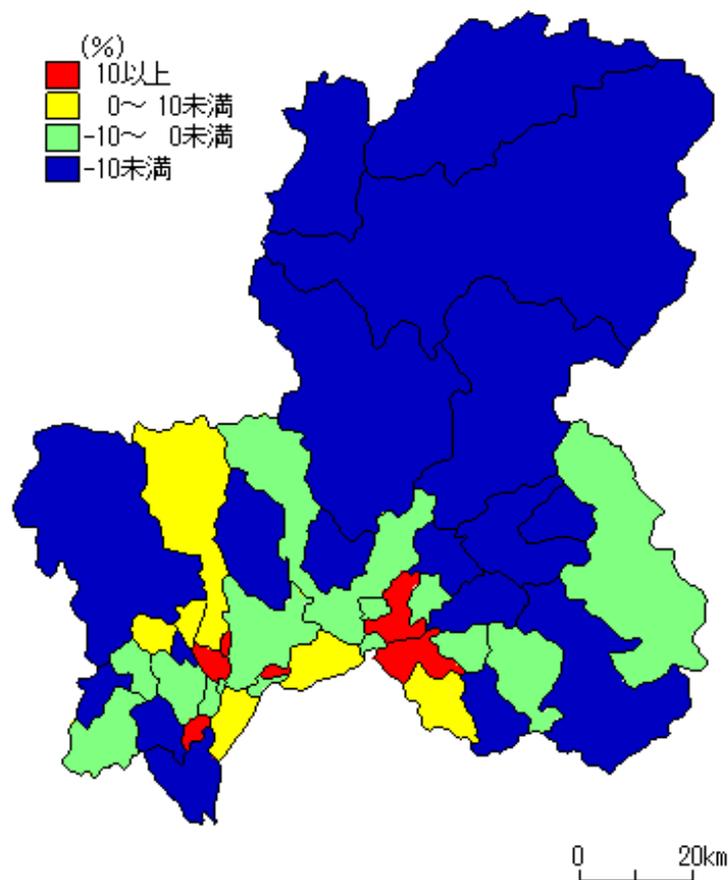
- ・ 高齢者の増加に伴い、死亡数も増加。出生数を死亡数が上回る自然現象はさらに拡大していく。

地域別に見た人口の推移と見通し

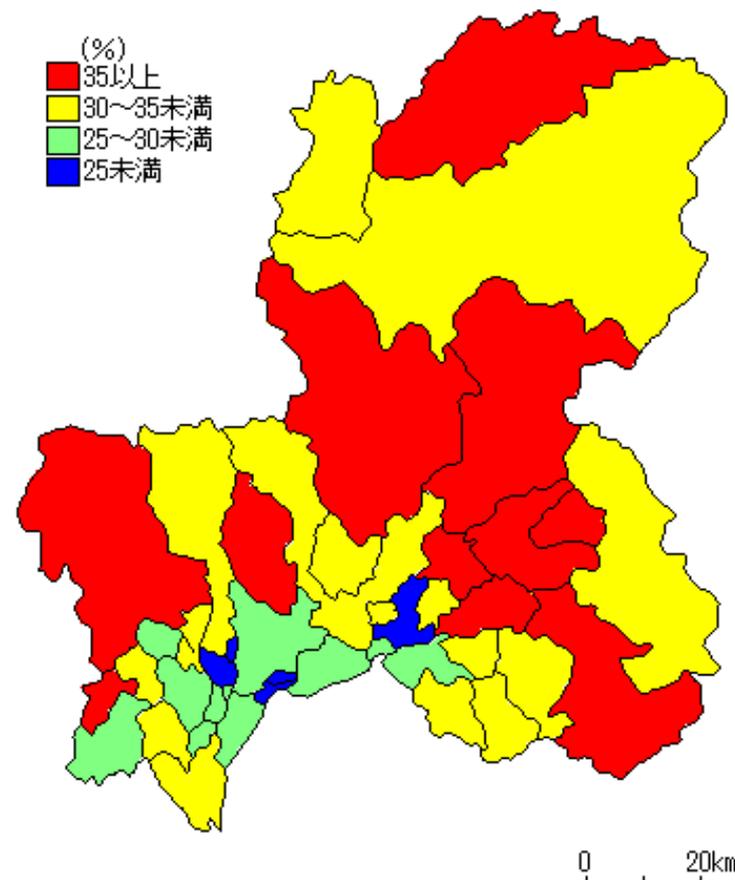
30年前と比較すると、人口が増加した地域は南部に集中 人口が減少した地域では、高齢化が顕著

2020年10月1日現在の市町村

1990年～2020年の人口増減率

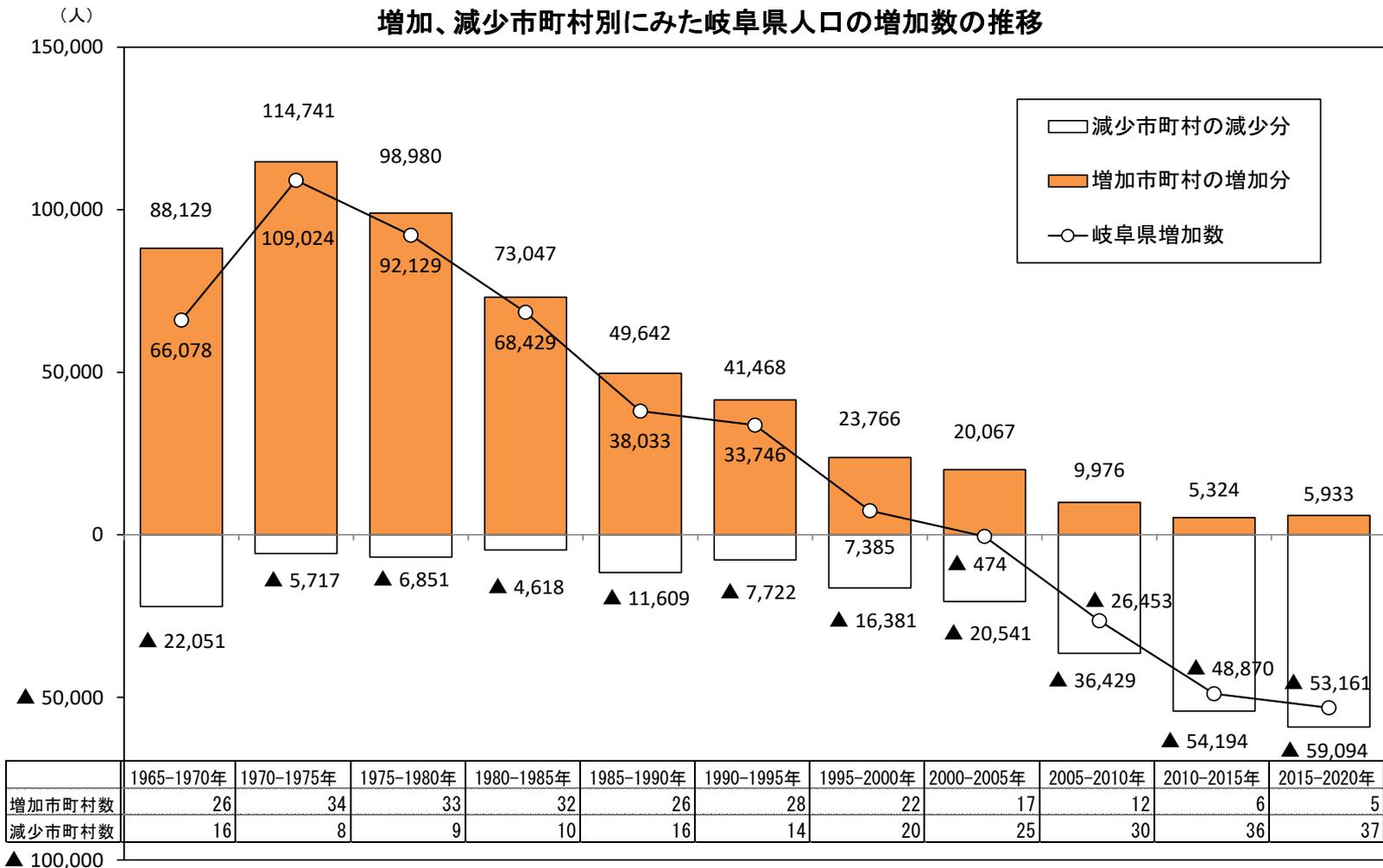


2020年の高齢（65歳以上）人口割合



県人口が増加していた時期においても、人口が減少した市町村が存在した

増加、減少市町村別にみた岐阜県人口の増加数の推移



1965-1970年 1970-1975年 1975-1980年 1980-1985年 1985-1990年 1990-1995年 1995-2000年 2000-2005年 2005-2010年 2010-2015年 2015-2020年

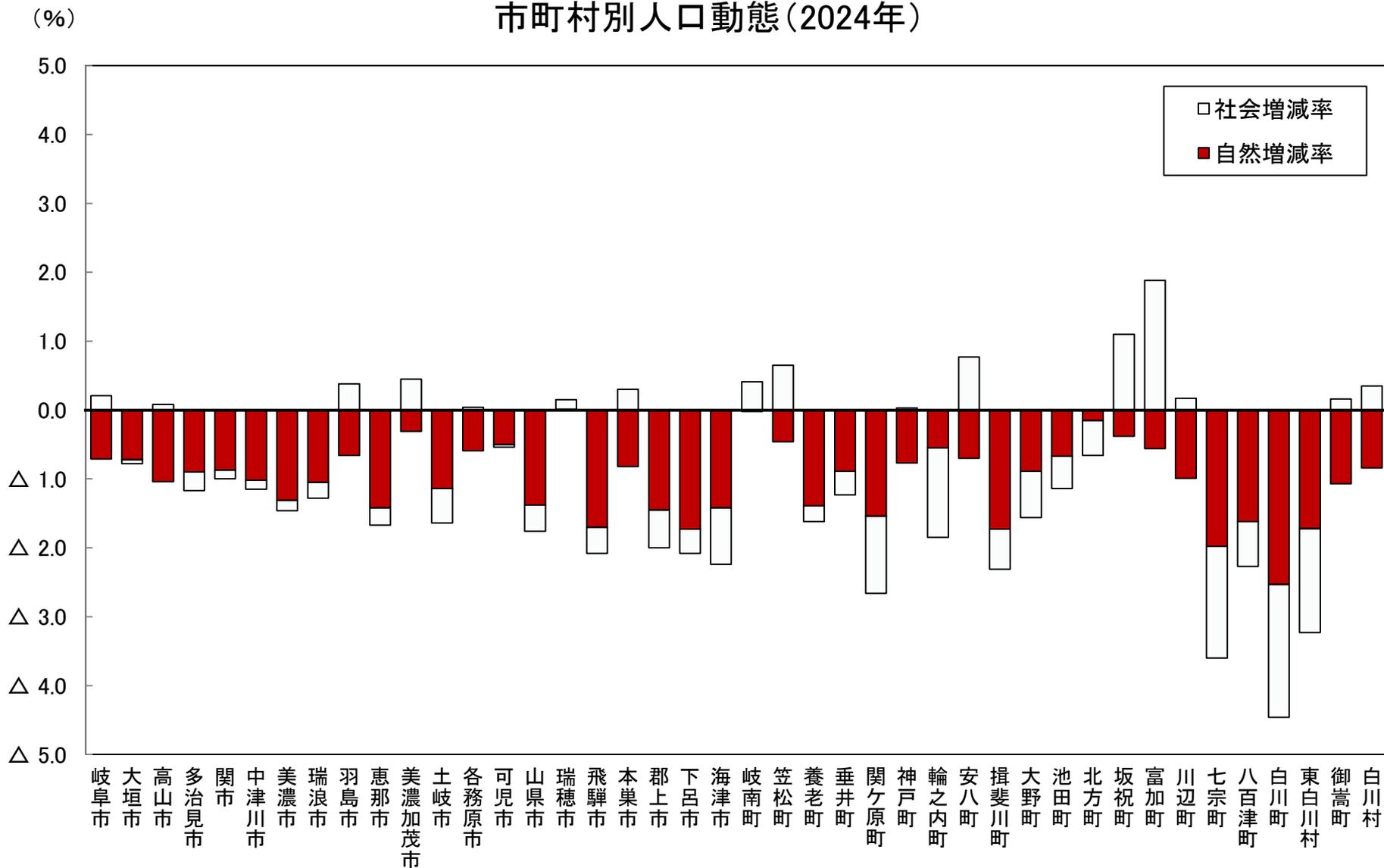
出典：総務省「国勢調査」

注1：各調査年の過去5年間の岐阜県の人口増加数を人口が増加した市町村の増加分と人口が減少した市町村の減少分に分けて表した。

注2：市町村数は、すべての調査年で2020年10月1日現在の42市町村を用いた。

ほとんどの市町村が、自然減少となっている

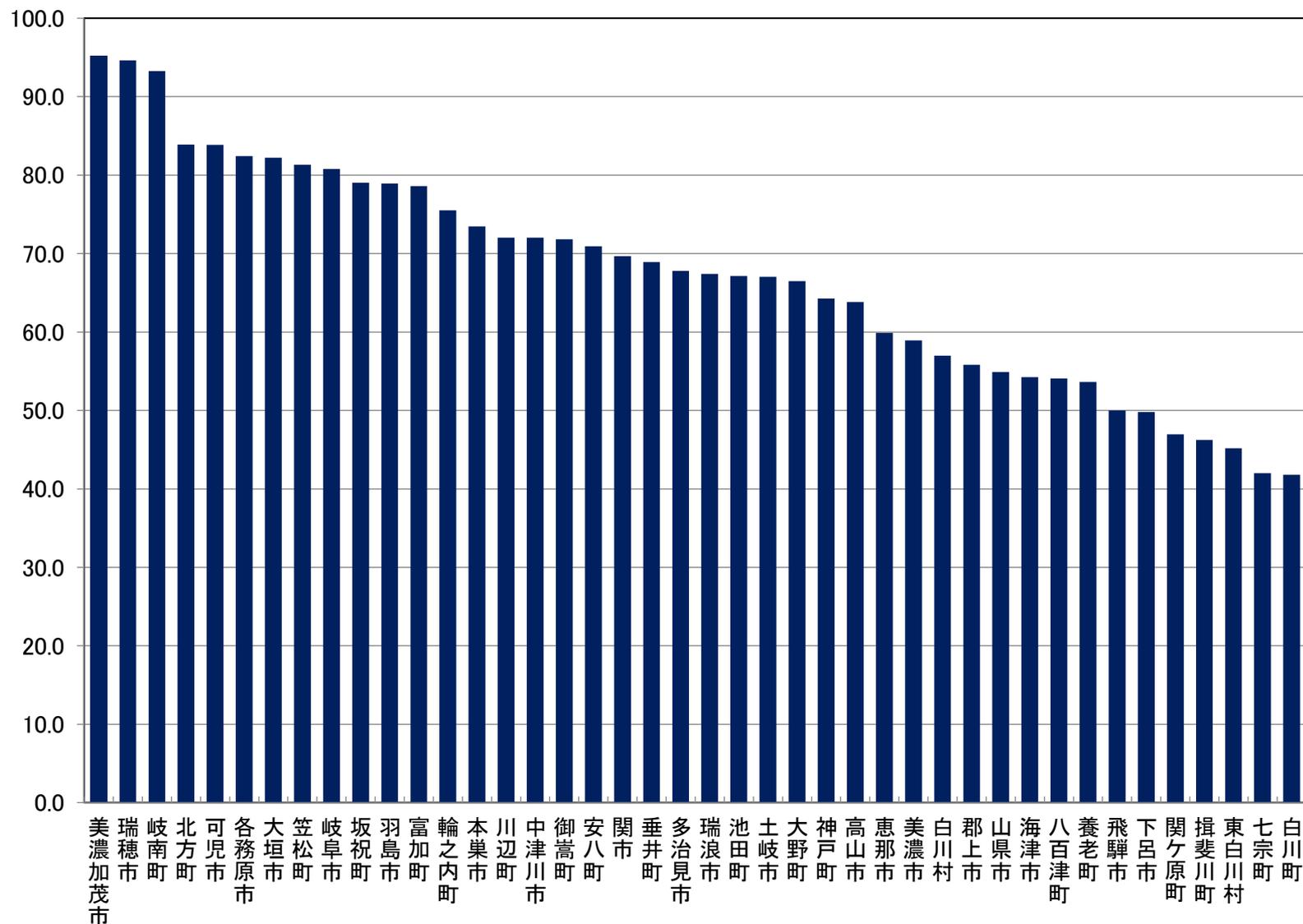
市町村別人口動態(2024年)



出典：岐阜県「2024年岐阜県人口動態統計調査」(2023年10月1日～2024年9月30日)

全ての市町村で人口は減少する

2050年における市町村別人口(2020年=100とした指数)



出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年(2023年)推計)」

※美濃加茂市、瑞穂市は2030年頃にピークを迎え、その後人口減少が続く。

市町村別の将来推計人口 その1

| | 総人口 2020年 (人) | 2020年国勢調査人口 | | | | | | 総人口 2050年 (人) | 指数 2050年 (2020年=100) | 2050年将来推計人口 | | | | | |
|------|---------------------|--------------|-----------|---------|----------------|--------|-------|---------------------|----------------------------|--------------|---------|---------|----------------|--------|-------|
| | | 年齢3区分別人口 (人) | | | 年齢3区分別人口割合 (%) | | | | | 年齢3区分別人口 (人) | | | 年齢3区分別人口割合 (%) | | |
| | | 0-14歳 | 15-64歳 | 65歳以上 | 0-14歳 | 15-64歳 | 65歳以上 | | | 0-14歳 | 15-64歳 | 65歳以上 | 0-14歳 | 15-64歳 | 65歳以上 |
| 県計 | 1,978,742 | 242,504 | 1,133,872 | 602,366 | 12.3 | 57.3 | 30.4 | 1,468,392 | 74.2 | 143,426 | 728,848 | 596,118 | 9.8 | 49.6 | 40.6 |
| 岐阜圏域 | 793,551 | 98,952 | 468,048 | 226,551 | 12.5 | 59.0 | 28.5 | 644,853 | 81.3 | 66,244 | 334,295 | 244,314 | 10.3 | 51.8 | 37.9 |
| 岐阜市 | 402,557 | 47,134 | 236,235 | 119,188 | 11.7 | 58.7 | 29.6 | 325,128 | 80.8 | 31,636 | 166,852 | 126,640 | 9.7 | 51.3 | 39.0 |
| 羽島市 | 65,649 | 8,495 | 38,891 | 18,263 | 12.9 | 59.2 | 27.8 | 51,806 | 78.9 | 5,145 | 26,346 | 20,315 | 9.9 | 50.9 | 39.2 |
| 各務原市 | 144,521 | 18,863 | 84,369 | 41,289 | 13.1 | 58.4 | 28.6 | 119,096 | 82.4 | 12,905 | 62,388 | 43,803 | 10.8 | 52.4 | 36.8 |
| 山口市 | 25,280 | 2,616 | 13,547 | 9,117 | 10.3 | 53.6 | 36.1 | 13,877 | 54.9 | 1,045 | 5,918 | 6,914 | 7.5 | 42.6 | 49.8 |
| 瑞穂市※ | 56,388 | 8,628 | 35,782 | 11,978 | 15.3 | 63.5 | 21.2 | 53,347 | 94.6 | 6,611 | 29,947 | 16,789 | 12.4 | 56.1 | 31.5 |
| 本巣市 | 32,928 | 4,192 | 18,656 | 10,080 | 12.7 | 56.7 | 30.6 | 24,186 | 73.5 | 2,367 | 11,768 | 10,051 | 9.8 | 48.7 | 41.6 |
| 岐南町※ | 25,881 | 3,776 | 16,207 | 5,898 | 14.6 | 62.6 | 22.8 | 24,133 | 93.2 | 3,003 | 13,569 | 7,561 | 12.4 | 56.2 | 31.3 |
| 笠松町 | 22,208 | 2,743 | 13,205 | 6,260 | 12.4 | 59.5 | 28.2 | 18,063 | 81.3 | 1,899 | 9,606 | 6,558 | 10.5 | 53.2 | 36.3 |
| 北方町 | 18,139 | 2,505 | 11,156 | 4,478 | 13.8 | 61.5 | 24.7 | 15,217 | 83.9 | 1,633 | 7,901 | 5,683 | 10.7 | 51.9 | 37.3 |
| 西濃圏域 | 358,439 | 43,505 | 206,014 | 108,920 | 12.1 | 57.5 | 30.4 | 252,390 | 70.4 | 23,050 | 123,673 | 105,667 | 9.1 | 49.0 | 41.9 |
| 大垣市 | 158,286 | 20,388 | 94,160 | 43,738 | 12.9 | 59.5 | 27.6 | 130,141 | 82.2 | 13,655 | 68,522 | 47,964 | 10.5 | 52.7 | 36.9 |
| 海津市 | 32,735 | 3,272 | 18,201 | 11,262 | 10.0 | 55.6 | 34.4 | 17,756 | 54.2 | 1,023 | 7,420 | 9,313 | 5.8 | 41.8 | 52.4 |
| 養老町 | 26,882 | 2,849 | 14,853 | 9,180 | 10.6 | 55.3 | 34.1 | 14,417 | 53.6 | 846 | 6,005 | 7,566 | 5.9 | 41.7 | 52.5 |
| 垂井町 | 26,402 | 3,277 | 14,841 | 8,284 | 12.4 | 56.2 | 31.4 | 18,195 | 68.9 | 1,677 | 8,803 | 7,715 | 9.2 | 48.4 | 42.4 |
| 関ヶ原町 | 6,610 | 590 | 3,368 | 2,652 | 8.9 | 51.0 | 40.1 | 3,105 | 47.0 | 172 | 1,222 | 1,711 | 5.5 | 39.4 | 55.1 |
| 神戸町 | 18,585 | 2,184 | 10,368 | 6,033 | 11.8 | 55.8 | 32.5 | 11,943 | 64.3 | 990 | 5,692 | 5,261 | 8.3 | 47.7 | 44.1 |
| 輪之内町 | 9,654 | 1,302 | 5,781 | 2,571 | 13.5 | 59.9 | 26.6 | 7,289 | 75.5 | 643 | 3,747 | 2,899 | 8.8 | 51.4 | 39.8 |
| 安八町 | 14,355 | 1,879 | 8,362 | 4,114 | 13.1 | 58.3 | 28.7 | 10,182 | 70.9 | 940 | 4,912 | 4,330 | 9.2 | 48.2 | 42.5 |
| 揖斐川町 | 19,529 | 1,993 | 10,009 | 7,527 | 10.2 | 51.3 | 38.5 | 9,033 | 46.3 | 649 | 3,407 | 4,977 | 7.2 | 37.7 | 55.1 |
| 大野町 | 22,041 | 2,795 | 12,617 | 6,629 | 12.7 | 57.2 | 30.1 | 14,650 | 66.5 | 1,293 | 6,613 | 6,744 | 8.8 | 45.1 | 46.0 |
| 池田町 | 23,360 | 2,976 | 13,454 | 6,930 | 12.7 | 57.6 | 29.7 | 15,679 | 67.1 | 1,162 | 7,330 | 7,187 | 7.4 | 46.8 | 45.8 |

※岐南町は2025年頃、瑞穂市は2030年頃にピークを迎え、その後人口減少が続く。

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年(2023年)推計）」

注1：2020年の年齢3区分別人口は、年齢不詳を按分した不詳補完値による。

注2：県計（岐阜県）の将来推計人口は、県が独自に推計した結果とは異なる。

市町村別の将来推計人口 その2

| | 2020年国勢調査人口 | | | | | | | 2050年将来推計人口 | | | | | | | |
|--------|---------------------|--------------|---------|---------|----------------|--------|-------|---------------------|----------------------------|--------------|---------|---------|----------------|--------|-------|
| | 総人口 2020年 (人) | 年齢3区分別人口 (人) | | | 年齢3区分別人口割合 (%) | | | 総人口 2050年 (人) | 指数 2050年 (2020年=100) | 年齢3区分別人口 (人) | | | 年齢3区分別人口割合 (%) | | |
| | | 0-14歳 | 15-64歳 | 65歳以上 | 0-14歳 | 15-64歳 | 65歳以上 | | | 0-14歳 | 15-64歳 | 65歳以上 | 0-14歳 | 15-64歳 | 65歳以上 |
| 中濃圏域 | 364,282 | 45,975 | 206,407 | 111,900 | 12.6 | 56.7 | 30.7 | 271,770 | 74.6 | 27,844 | 133,266 | 110,660 | 10.2 | 49.0 | 40.7 |
| 関市 | 85,283 | 10,503 | 48,691 | 26,089 | 12.3 | 57.1 | 30.6 | 59,419 | 69.7 | 5,255 | 28,266 | 25,898 | 8.8 | 47.6 | 43.6 |
| 美濃市 | 19,247 | 2,112 | 10,149 | 6,986 | 11.0 | 52.7 | 36.3 | 11,343 | 58.9 | 1,054 | 5,093 | 5,196 | 9.3 | 44.9 | 45.8 |
| 美濃加茂市※ | 56,689 | 8,590 | 34,811 | 13,288 | 15.2 | 61.4 | 23.4 | 53,983 | 95.2 | 7,040 | 29,104 | 17,839 | 13.0 | 53.9 | 33.0 |
| 可児市 | 99,968 | 12,971 | 58,949 | 28,048 | 13.0 | 59.0 | 28.1 | 83,832 | 83.9 | 8,587 | 43,136 | 32,109 | 10.2 | 51.5 | 38.3 |
| 郡上市 | 38,997 | 4,575 | 19,801 | 14,621 | 11.7 | 50.8 | 37.5 | 21,763 | 55.8 | 1,840 | 8,678 | 11,245 | 8.5 | 39.9 | 51.7 |
| 坂祝町 | 8,071 | 1,048 | 4,756 | 2,267 | 13.0 | 58.9 | 28.1 | 6,378 | 79.0 | 777 | 3,195 | 2,406 | 12.2 | 50.1 | 37.7 |
| 富加町 | 5,626 | 792 | 3,017 | 1,817 | 14.1 | 53.6 | 32.3 | 4,422 | 78.6 | 553 | 2,133 | 1,736 | 12.5 | 48.2 | 39.3 |
| 川辺町 | 9,860 | 1,239 | 5,462 | 3,159 | 12.6 | 55.4 | 32.0 | 7,100 | 72.0 | 718 | 3,468 | 2,914 | 10.1 | 48.8 | 41.0 |
| 七宗町 | 3,402 | 283 | 1,551 | 1,568 | 8.3 | 45.6 | 46.1 | 1,429 | 42.0 | 89 | 505 | 835 | 6.2 | 35.3 | 58.4 |
| 八百津町 | 10,195 | 999 | 5,095 | 4,101 | 9.8 | 50.0 | 40.2 | 5,514 | 54.1 | 435 | 2,222 | 2,857 | 7.9 | 40.3 | 51.8 |
| 白川町 | 7,412 | 586 | 3,355 | 3,471 | 7.9 | 45.3 | 46.8 | 3,098 | 41.8 | 149 | 985 | 1,964 | 4.8 | 31.8 | 63.4 |
| 東白川村 | 2,016 | 185 | 921 | 910 | 9.2 | 45.7 | 45.1 | 911 | 45.2 | 63 | 319 | 529 | 6.9 | 35.0 | 58.1 |
| 御嵩町 | 17,516 | 2,092 | 9,849 | 5,575 | 11.9 | 56.2 | 31.8 | 12,578 | 71.8 | 1,284 | 6,162 | 5,132 | 10.2 | 49.0 | 40.8 |
| 東濃圏域 | 323,574 | 37,660 | 181,038 | 104,876 | 11.6 | 55.9 | 32.4 | 218,234 | 67.4 | 19,034 | 102,898 | 96,302 | 8.7 | 47.2 | 44.1 |
| 多治見市 | 106,732 | 12,280 | 60,983 | 33,469 | 11.5 | 57.1 | 31.4 | 72,336 | 67.8 | 6,281 | 33,489 | 32,566 | 8.7 | 46.3 | 45.0 |
| 中津川市 | 76,570 | 9,117 | 42,365 | 25,088 | 11.9 | 55.3 | 32.8 | 55,136 | 72.0 | 4,887 | 26,993 | 23,256 | 8.9 | 49.0 | 42.2 |
| 瑞浪市 | 37,150 | 4,187 | 21,302 | 11,661 | 11.3 | 57.3 | 31.4 | 25,047 | 67.4 | 2,044 | 12,046 | 10,957 | 8.2 | 48.1 | 43.7 |
| 恵那市 | 47,774 | 5,503 | 25,347 | 16,924 | 11.5 | 53.1 | 35.4 | 28,611 | 59.9 | 2,354 | 12,613 | 13,644 | 8.2 | 44.1 | 47.7 |
| 土岐市 | 55,348 | 6,573 | 31,041 | 17,734 | 11.9 | 56.1 | 32.0 | 37,104 | 67.0 | 3,468 | 17,757 | 15,879 | 9.3 | 47.9 | 42.8 |
| 飛騨圏域 | 138,896 | 16,412 | 72,365 | 50,119 | 11.8 | 52.1 | 36.1 | 81,145 | 58.4 | 7,254 | 34,716 | 39,175 | 8.9 | 42.8 | 48.3 |
| 高山市 | 84,419 | 10,554 | 45,703 | 28,162 | 12.5 | 54.1 | 33.4 | 53,862 | 63.8 | 5,119 | 24,076 | 24,667 | 9.5 | 44.7 | 45.8 |
| 飛騨市 | 22,538 | 2,393 | 11,041 | 9,104 | 10.6 | 49.0 | 40.4 | 11,268 | 50.0 | 843 | 4,429 | 5,996 | 7.5 | 39.3 | 53.2 |
| 下呂市 | 30,428 | 3,264 | 14,811 | 12,353 | 10.7 | 48.7 | 40.6 | 15,154 | 49.8 | 1,160 | 5,781 | 8,213 | 7.7 | 38.1 | 54.2 |
| 白川村 | 1,511 | 201 | 810 | 500 | 13.3 | 53.6 | 33.1 | 861 | 57.0 | 132 | 430 | 299 | 15.3 | 49.9 | 34.7 |

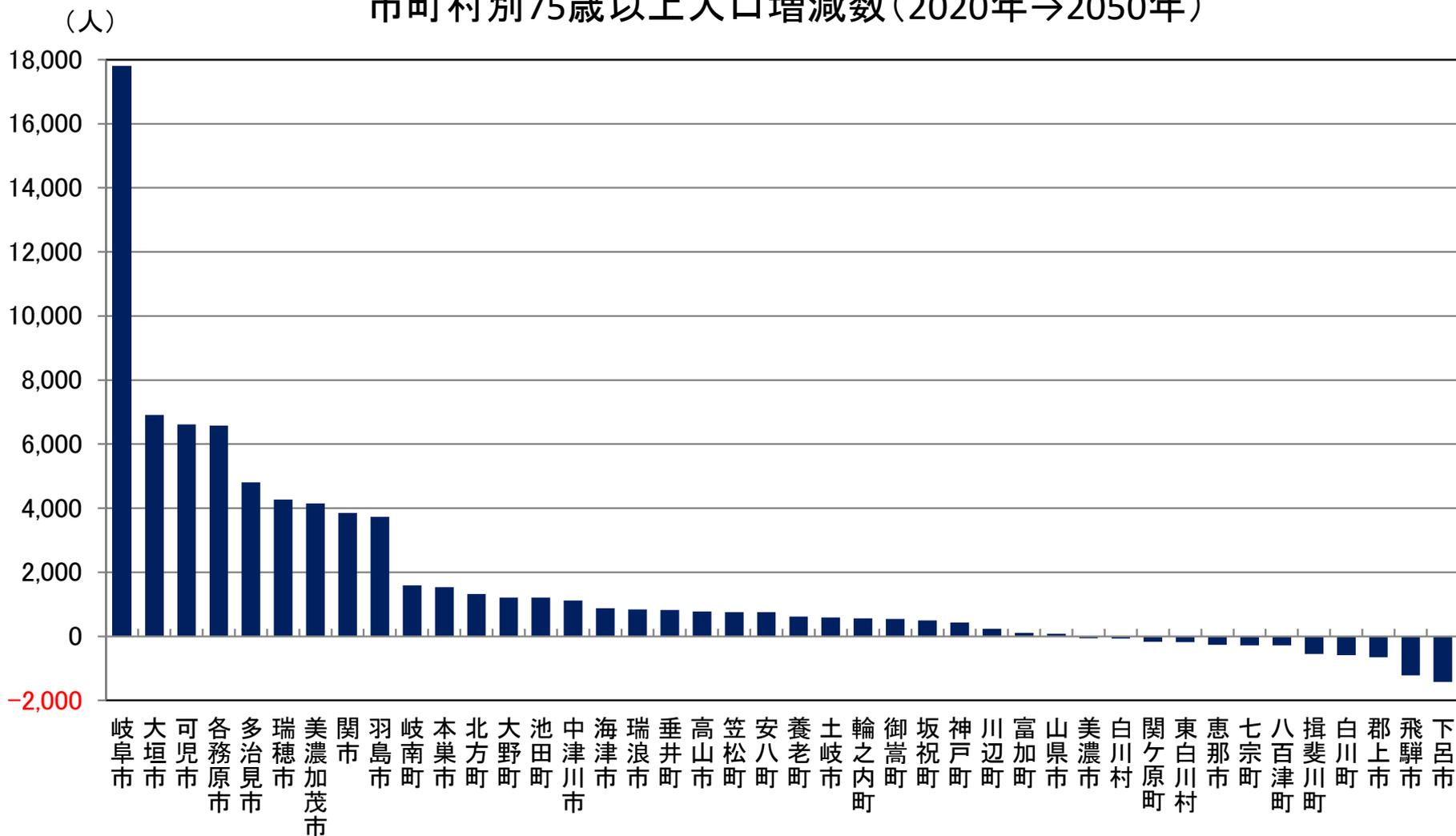
※美濃加茂市は2030年頃ピークを迎え、その後人口減少が続く。

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年(2023年)推計）」

注：2020年の年齢3区分別人口は、年齢不詳を按分した不詳補完値による。

将来、高齢者の人口増加が大きいのは都市部

市町村別75歳以上人口増減数(2020年→2050年)



出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年(2023年)推計)」

地域によって人口減少のスピードは異なる

- 日本は人口減少社会に突入した。生まれる子どもより亡くなる人の方が多く（自然減少）、人が減るのはどの地域も同じ傾向。人口減少社会は避けられない。
- 一方で住宅等を理由として、社会動態がプラスの地域もある。同じ県内、同じ市町村内でも、地域によって人口動態は異なり、とりわけ社会移動には違いがある。
- 人口減少のスピードは地域によって異なる。課題も手立ても地域によって違う。
 - ・過疎地など早くから人口減少、最近減少に転じた地域、今後減少する地域など
 - ・都市部では高齢者が急増。人口減少が早い地域では、高齢者も減少に向かう。
- 地域が持つ特徴も大いに違う。地域にしかないモノ、特性、自慢等豊かな個性を持つ。
 - 地域の強みを存分に活かした手立てが必要
 - 製造業が強い地域、観光資源に恵まれた地域、農林業が強い地域、経済の拠点となる都市に近い便利な地域、交通の要となっている地域、大学等の学びの拠点など
- 感覚だけにとらわれず、
冷静にデータ（実数）を見て、議論することが重要。**